

# 矢野 順治

YANO, Jyunji



経営学部長, 環境経営研究科副研究科長,  
環境経営研究科経営学専攻長, アドミッションセンター長  
教授

所属…経営学部 経営学科  
大学院 環境経営研究科 経営学専攻

yanoj@kankyo-u.ac.jp

## Profile

■主な担当科目 金融入門, 金融市場論, 証券投資概論

### 研究者略歴

|                   |  |
|-------------------|--|
| 1987 (昭和62) 年 12月 | シカゴ大学経済学部博士課程修了                        |
| 1987 (昭和62) 年 12月 | 名古屋大学経済学部助手                            |
| 1989 (平成 元) 年 4月  | 長崎大学大学経済学部講師                           |
| 1998 (平成 9) 年 4月  | 広島大学経済学部教授                             |
| 2015 (平成27) 年 4月～ | 公立鳥取環境大学経営学部教授                         |
| 2016 (平成28) 年 4月～ | 公立鳥取環境大学大学院環境経営研究科経営学専攻教授              |
| 2018 (平成30) 年 4月～ | 公立鳥取環境大学経営学部長, 大学院環境経営研究科副研究科長, 経営学専攻長 |

## Research

■取得学位 経済学博士 (シカゴ大学)

■専門分野 金融論

■現在の研究テーマ  
・フィリップス曲線と金融政策分析  
・金融政策の波及経路

■所属学会 日本経済学会, 日本金融学会, 生活経済学会

## Data

### 研究等活動

#### 【著書】

・「国際金融 理論編」(共著) 2008年 有斐閣 「E-viewsで学ぶ実証分析入門 (基礎編, 応用編)」(共著) 2008年 日本評論社  
「E-viewsで学ぶ実証分析の方法」(共著) 2013年 日本評論社

# 石川 真澄

ISHIKAWA, Masumi



副学部長  
教授

所属…経営学部 経営学科  
大学院 環境経営研究科 経営学専攻

Profile

■主な担当科目 公共政策論, 環境経済学, マクロ経済学入門

■研究者略歴

|                  |   |
|------------------|---|
| 1995 (平成 7) 年 3月 | 同志社大学大学院経済学研究科博士課程 (後期) 経済政策専攻退学          |
| 1995 (平成 7) 年 4月 | 宮崎産業経営大学経済学部専任講師                          |
| 2001 (平成13) 年 4月 | 鳥取環境大学環境情報学部環境政策学科専任講師                    |
| 2004 (平成16) 年 1月 | 鳥取環境大学環境情報学部環境政策学科助教                      |
| 2007 (平成19) 年 4月 | 鳥取環境大学環境情報学部環境政策学科・大学院環境情報学研究科環境情報学専攻准教授  |
| 2012 (平成24) 年 4月 | 鳥取環境大学経営学部経営学科准教授                         |
| 2015 (平成27) 年 4月 | 公立鳥取環境大学経営学部経営学科准教授・大学院環境情報学研究科環境情報学専攻准教授 |
| 2016 (平成28) 年 4月 | 公立鳥取環境大学経営学部経営学科副学部長・大学院環境経営研究科経営学専攻准教授   |
| 2017 (平成29) 年10月 | 公立鳥取環境大学経営学部経営学科副学部長・大学院環境経営研究科経営学専攻教授    |

Research

■取得学位 経済学修士 (同志社大学)

■専門分野 環境経済論, 経済政策論

■現在の研究テーマ ・経済的手法による環境政策の研究

■所属学会 日本経済政策学会, 環境経済・政策学会, 廃棄物資源循環学会

Data

■研究等活動

【著書】

- ・「循環型社会のキーコンセプト (拡大生産者責任)」「ドイツのリサイクル政策」「エコツーリズム」「環境税・炭素税」(「地球環境読本Ⅱ」, 2004年8月, 丸善 所収)
- ・「観光地のライフサイクルと持続可能性」(「現代社会とツーリズム」2001年4月, 東海大学出版会, 第五章)

【報告書】

- ・「日本からアジアに展開する廃棄物系バイオマス利活用による3R定着に関する研究」第6章1節, 2014年3月

■社会貢献活動

- ・鳥取市都市計画審議会委員 (2011年～ )
- ・鳥取県国民健康保険運営協議会委員 (2018年～ )

# 細野 宏

HOSONO, Hiroshi



教授

所属…経営学部 経営学科  
大学院 環境経営研究科経営学専攻

[h-hosono@kankyo-u.ac.jp](mailto:h-hosono@kankyo-u.ac.jp)

Profile

|                  |   |
|------------------|---|
| ■主な担当科目          | 地域行政論, 行政法, 環境法概論                               |
| ■研究者略歴           |   |
| 1977 (昭和52) 年 3月 | 東京大学法学部卒業                                       |
| 1977 (昭和52) 年 4月 | 環境庁(省) (大臣官房, 総合環境政策局, 環境保健部, 大気保全局など~ 2009年7月) |
| 1984 (昭和59) 年 7月 | 厚生省 (児童家庭局, 健康政策局)                              |
| 1989 (平成 元) 年 7月 | 北九州市 (環境事業局)                                    |
| 1996 (平成 8) 年 7月 | 米国東西センター (客員研究員)                                |
| 2000 (平成12) 年 7月 | 特殊法人公害健康被害補償予防協会 (基金事業部)                        |
| 2004 (平成16) 年 4月 | 独立行政法人環境再生保全機構 (予防事業部)                          |
| 2009 (平成21) 年 8月 | 鳥取環境大学環境情報学部環境政策経営学科教授                          |
| 2012 (平成24) 年 4月 | 鳥取環境大学経営学部経営学科教授                                |
| 2013 (平成25) 年 4月 | 公立鳥取環境大学大学院環境情報学研究科環境情報学専攻教授                    |
| 2015 (平成27) 年 4月 | 公立鳥取環境大学経営学部経営学科教授, 大学院環境情報学研究科環境情報学専攻教授        |
| 2016 (平成28) 年 4月 | 公立鳥取環境大学大学院環境経営研究科経営学専攻教授                       |

Research

|           |  |
|-----------|--|
| ■取得学位     | 法学士 (東京大学)   |
| ■専門分野     | 地域行政, 環境行政, 環境法  |
| ■現在の研究テーマ | <ul style="list-style-type: none"><li>先進的森林セラピー基地®の取組を踏まえた鳥取県内市町村におけるニューツーリズム振興方策に関する研究 (全国の森林セラピー基地等のうち, エコツーリズム, ヘルスツーリズム, グリーンツーリズム等のニューツーリズムの観点から評価されている先進的な取組を踏まえて, 鳥取県内各市町村におけるこれらのツーリズムの振興方策についての研究) を実施。</li><li>鳥取県東部地域における移住促進と転出抑制に関する施策の連携による持続可能な地域づくりに関する研究 (都会からの移住やUターン等の経験者が実感している居住地域や職場 (業) に関する魅力を, 各地域の特性に応じた移住促進施策とともに, 地元におけるESDやふるさと教育による転出抑制施策に活用するための方策等について研究) を実施。</li></ul> |
| ■所属学会     | 日本地域政策学会, 地域活性化学会, 環境法政策学会   |

Data

|         |  |
|---------|--|
| ■研究等活動  |  |
| 【論文】    | <ul style="list-style-type: none"><li>「森林セラピー事業の現状と課題に係る考察」2016年, 『日本地域政策研究』第16号</li><li>「自治体における家庭系廃食用油の回収再生利用事業の実態と課題」2015年, 『都市清掃』第41巻2号</li><li>「岡山市における廃天ぷら油回収とエコライフの実践に関する一考察」2015年, 『月刊廃棄物』第68巻第324号</li></ul>  |
| 【報告書】   | <ul style="list-style-type: none"><li>「生ごみや小型家電のリサイクル推進策に関する研究」, 2015年, 鳥取県環境学術研究等振興事業費補助金研究実績報告書</li><li>「日本からアジアに展開する廃棄物系バイオマス活用による3R定着に関する研究」(共著), 2012年, 2013年及び2014年, 環境研究総合推進費補助金研究事業研究報告書</li></ul>   |
| ■社会貢献活動 | <ul style="list-style-type: none"><li>森林セラピーフォーラム2020 ~移住者のチカラで, 森と人と地方を元気に~基調講演講師</li><li>平成30年度鳥取環境大学公開講座講師 (「森林セラピー事業の展開と農山村の再生」)</li><li>鳥取県河川委員会委員 (平成30年度~令和3年度)</li><li>鳥取県農協職員共済会評議員 (平成29年度~令和3年度)</li><li>中国地方ESD活動支援センター (仮称) 準備委員 (平成28年度)</li><li>鳥取地方法務局評価委員 (平成25年度), 委員長 (平成27年度及び令和元年度)</li><li>鳥取地方・家庭裁判所委員会委員 (平成25~29年度)</li></ul> |

## 柳 年哉

YANAGI, Toshiya



教授

所属…経営学部 経営学科  
大学院 環境経営研究科 経営学専攻

✉ cpaey22@kankyo-u.ac.jp

## Profile

■ 主な担当科目 会計学入門, 財務会計, 経営分析

## ■ 研究者略歴

- 1979 (昭和54) 年 3月 和歌山大学経済学部卒業
- 1979 (昭和54) 年11月 クーパース&ライブランド公認会計士事務所入所 (～1984 (昭和59) 年3月)
- 1984 (昭和59) 年 4月 昭和監査法人 (現:EY 新日本有限責任監査法人) 入所
- 1985 (昭和60) 年10月 ピートマーウィックミツチエル会計事務所 (現:KPMG) ドイツ デュセルドルフ事務所に出向 (～1989 (平成元) 年)
- 1998 (平成10) 年10月 日本公認会計士協会 近畿実務補習所 “税効果会計” 講義担当 (～2008 (平成20) 年)
- 1999 (平成11) 年 4月 和歌山市包括外部監査補助者 (～2002 (平成14) 年)
- 2000 (平成12) 年 4月 倉敷市包括外部監査補助者 (～2001 (平成13) 年)
- 2001 (平成13) 年 5月 監査法人大田昭和センチュリー (現:EY 新日本有限責任監査法人) 代表社員就任
- 2001 (平成13) 年10月 日本公認会計士協会 近畿会国際委員会委員 各国の企業結合の会計研究プロジェクト委員 (～2003 (平成15) 年)
- 2006 (平成18) 年 4月 関西大学会計専門職大学院 “国際監査事例研究” 講義担当 非常勤講師 (～2012 (平成24) 年)
- 2008 (平成20) 年 7月 新日本有限責任監査法人 大阪事務所 国際部部門長 シニアパートナー (～2017 (平成29) 年6月)
- 2018 (平成30) 年 4月 公立鳥取環境大学 経営学部 経営学科 非常勤講師
- 2019 (平成31) 年 4月～ 公立鳥取環境大学 経営学部 経営学科 教授
- 2020 (令和2) 年 4月～ 公立鳥取環境大学 大学院 環境経営研究科 経営学専攻 教授

## Research

■ 取得学位 経済学士 (和歌山大学)

■ 専門分野 会計学, 国際財務報告基準, 監査論

■ 現在の研究テーマ

- ・日本企業における国際財務報告基準 (International Financial Reporting Standards-IFRS) の実務対応に関する研究
- ・コーポレートガバナンスの一環としての内部統制システム導入の考察
- ・独立監査人の監査報告書に記載される監査上の主要な検討事項 (Key Audit Matters-KAM) と監査手続の関連に関する研究

■ 資格 公認会計士 (日本公認会計士協会)

## Data

## ■ 研究等活動

## 【著書】

- ・「英文会計のコミュニケーション」第1版 (共著) 2016 (平成27年) 7月 同文館出版
- ・「英文会計のコミュニケーション」第2版 (共著) 2017 (平成29年) 3月 同文館出版
- ・「海外子会社の内部統制評価実務」 (共著) 2018 (平成30年) 7月 同文館出版
- ・「図解 簿記・会計の基本テキスト」 (共著) 2021 (令和3年) 3月 同文館出版

## ■ 社会貢献活動

- ・企業の経理担当者向けセミナー講師  
「グローバル人材育成のための英文会計セミナー」新日本有限責任監査法人 大阪事務所主催 平成25年～平成26年4月
- ・企業の監査役及び内部監査人向けセミナー講師  
「海外子会社等の内部統制監査実務セミナー」新日本有限責任監査法人 大阪事務所主催 平成27年4月～平成27年8月  
「海外子会社の内部統制強化のためのセミナー」新日本有限責任監査法人 大阪事務所主催 平成28年4月～平成28年12月
- ・鳥取県複合バイオマス資源利活用検討委員会
- ・鳥取市旧本庁舎等跡地活用に関する専門家委員会委員長

## 齊藤 哲

SAITO Tetsu



教授

所属…経営学部 経営学科

## Profile

■主な担当科目 経営工学, プロジェクトマネジメント

## ■研究者略歴

|                |  |
|----------------|--|
| 1981(昭和56)年 3月 | 慶應義塾大学商学部卒業                              |
| 2011(平成23)年 9月 | 早稲田大学大学院創造理工学研究科経営デザイン専攻修士課程修了, 修士(経営工学) |
| 2018(平成30)年 3月 | 早稲田大学大学院創造理工学研究科経営デザイン専攻博士課程修了, 博士(経営工学) |
| 1981(昭和56)年 4月 | 株式会社日立製作所(～2015年3月)                      |
| 2015(平成27)年 4月 | 株式会社日立産業制御ソリューションズ(～2021年3月)             |
| 2020(令和 2)年 4月 | 早稲田大学大学院創造理工学研究科経営デザイン専攻 非常勤講師(～2021年3月) |
| 2021(令和 3)年 4月 | 公立鳥取環境大学経営学部経営学科教授                       |

## Research

■取得学位 博士(経営工学) 早稲田大学

■専門分野 経営工学, プロジェクトマネジメント, 要求工学

■現在の研究テーマ ・業務改革のためのプロジェクトマネジメント手法の研究  
(1)業務改革プロジェクトへのIE手法の適用  
(2)情報システム開発プロジェクトへのIE手法の適用

■受賞歴 2017(平成29)年8月 文献賞(プロジェクトマネジメント学会)

■所属学会 日本経営工学会, 電気学会 C(電子・情報・システム)部門, プロジェクトマネジメント学会

## Data

## ■研究等活動

## 【著書】

・「AI, IoTを成功に導くデータ前処理の極意」(共著・監修), 2018年, 日経BP社

## 【論文】

- ・「業務プロセスの分解における情報連携表記方法の比較実験」(共著), 2019年, 電気学会論文誌C(電子・情報・システム部門誌), Vol.139, No.8
- ・「企業情報システム開発における行列を用いた情報連携表記方法(MDM)」, 2018年, 早稲田大学創造理工学研究科 学位論文
- ・「機能と責任境界・管轄の全体連携図(G-RD)を活用したステークホルダ要求獲得の提案」(共著), 2016年, プロジェクトマネジメント学会誌, Vol.18, No.1
- ・「機能と境界・全体連携図の表記方法に関する考察」(共著), 2014年, 電気学会論文誌C(電子・情報・システム部門誌), Vol.134, No.5
- ・「G-RDを活用した同時的業務設計方法の提言」(共著), 2013年, 日本経営工学会 論文誌, Vol.64, No.3
- ・「A Simultaneous Business Design Method Utilizing G-RD」(共著), 2013年, MIS Review, Vol.18, No.2

## 【学会発表】

- ・「Proposal of Requirement Definition Method for Business Management Information Systems」, 2019年, 13th International Conference on Project Management (ProMAC 2019)
- ・「Comparative Study of Description Method for Visualization of Business Process Decomposition」, 2018年, 12th International Conference on Project Management (ProMAC 2018)
- ・「業務プロセスの分解における情報連携表記方法の比較実験」, 2018年, 電気学会 平成30年 電子・情報・システム部門大会
- ・「Comparative Study of Description Method for Business Process Visualization」, 2017年, 11th International Conference on Project Management (ProMAC 2017)
- ・「企業情報システム開発における機能の分解・統合と連携の表記方法に関する考察」, 2017年, 電気学会 平成29年 電子・情報・システム部門大会
- ・「The Proposal of Stakeholder Requirement Utilizing G-RD in Business Process Information System」, 2016年, 10th International Conference on Project Management (ProMAC 2016)
- ・「企業業務処理システム開発における要求獲得に関する一考察」, 2016年, 電気学会 平成28年 電子・情報・システム部門大会
- ・「A Case Study on Application of G-RD to Business Integration after M&A」, 2014年, 19th Asia-Pacific Decision Sciences Institute Conference (APDSI 2014)
- ・「企業合併に伴う業務統合におけるG-RD活用事例の考察」, 2014年, 日本経営工学会 2014年 春季大会

## ■社会貢献活動

- ・2019年7月, 2020年11月 早稲田大学 データサイエンスコンペティション審査員
- ・2018年10月 いわきコンピュータカレッジ 特別講義 「社会インフラを支えるIT」

## 中山 実郎

NAKAYAMA Jitsuro

副学長補佐 (学生生活・就職, 広報, 地域連携, 国際交流担当),  
就職支援センター長  
教授所属…経営学部 経営学科  
大学院 環境経営研究科経営学専攻

✉ j-nakaya@kankyo-u.ac.jp

■主な担当科目 企業法概論, 民法1, 民法2

## ■研究者略歴

|                  |                                     |
|------------------|-------------------------------------|
| 1981 (昭和56) 年3月  | 法政大学法学部法律学科卒業                       |
| 1983 (昭和58) 年3月  | 明治大学大学院法学研究科博士課程前期2年の課程修了           |
| 2004 (平成16) 年4月  | 青森中央学院大学 経営法学部 専任講師 同地域マネジメント研究所研究員 |
| 2008 (平成20) 年4月  | 大阪国際大学 現代社会学部 法律政策学科 准教授            |
| 2013 (平成25) 年4月  | 大阪国際大学 現代社会学部 法律政策学科 教授             |
| 2014 (平成26) 年4月  | 大阪国際大学 グローバルビジネス学部 教授               |
| 2017 (平成29) 年4月～ | 公立鳥取環境大学 経営学部 教授                    |
| 2020 (令和2) 年4月～  | 公立鳥取環境大学 大学院 環境経営研究科 経営学専攻 教授       |

■取得学位 法学修士(明治大学)

■専門分野 民法(財産法), 消費者法, ビジネス法務

■現在の研究テーマ

- ・契約当事者が負う説明義務について
- ・未成年者等責任無能力者と損害賠償責任の問題
- ・担保不動産収益執行の効果について
- ・契約の成立・効力と消費者保護の問題
- ・指名債権譲渡の要件
- ・遺言の方式と要件

■所属学会

日本法政学会 関西法政治研究会 青森法学会 日本リスクマネジメント学会  
中四国法政学会 日本政治法律学会

■資格 行政書士

## ■研究等活動

## 【著書】

- ・民法小事典(3訂版) 共著 2009年 3月 住宅新報社
- ・ビジネス 学びのことはじめ 共著 2010年 3月 ナカニシヤ出版
- ・やさしく学ぶ行政書士の教科書 共著 2010年10月 オーム社
- ・民法I (総則・物権・担保物権) 単著 2011年 3月 文教出版会
- ・業界研究学びのことはじめ 共著 2016年 4月 ナカニシヤ出版

## 【論文】

- ・法定地上権の同一所有者要件をめぐる新たな最高裁判決 単著 2008年 3月 青森中央学院大学「研究紀要」第10号
- ・特許権の消尽と侵害の成否 単著 2009年 3月 大阪国際大学国際研究論叢第22巻3号
- ・フランチャイズ契約における本部の加盟店に対する報告義務 単著 2010年 3月 大阪国際大学国際研究論叢第23巻3号
- ・担保不動産収益執行と賃料債権の相殺をめぐる問題 単著2011年 3月 大阪国際大学国際研究論叢第24巻3号
- ・居住用建物の賃貸借契約における敷引特約に関する最高裁の判断と課題 単著 2012年 3月 大阪国際大学国際研究論叢第25巻3号
- ・居住用建物の賃貸借契約における更新料条項の効力 単著 2013年 1月 大阪国際大学国際研究論叢第26巻2号
- ・契約準備段階における説明義務違反と損害賠償責任の成否 単著 2013年10月 大阪国際大学国際研究論叢第27巻1号
- ・再度の取得時効の完成と抵当権の帰趨 単著 2014年10月 大阪国際大学国際研究論叢第28巻1号
- ・承役地の担保不動産競売における未登記通行地役権の消長 単著 2015年 3月 大阪国際大学国際研究論叢第28巻3号
- ・主債務を単独相続した保証人による債務の弁済と時効の中断 単著 2015年10月 大阪国際大学国際研究論叢第29巻1号
- ・法定代理人がない事理弁識能力を欠く常況にある者と民法158条1項の類推適用 単著 2016年 3月 大阪国際大学国際研究論叢第29巻3号
- ・責任弁識能力のない未成年者の親権者の監督義務 単著 2016年 10月 大阪国際大学国際研究論叢第30巻2号
- ・主債務者が反社会的勢力であった場合の錯誤無効と保証契約の付随義務違反 単著 2017年 3月 大阪国際大学国際研究論叢第30巻3号
- ・自筆証書遺言の方式に関する近時の最高裁判決 単著 2018年 1月 大阪国際大学国際研究論叢第31巻 2号
- ・債務者が異議ををとどめないでした指名債権譲渡の承諾と譲受人の主観的要件 単著 2018年3月 大阪国際大学国際研究論叢第31巻3号
- ・節税目的でなされた養子縁組と縁組意思の有無 単著 2019年 公立鳥取環境大学紀要 16巻16号
- ・グループ会社従業員に対する親会社の対応義務 単著 2020年 公立鳥取環境大学紀要 17巻1号

## ■社会貢献活動

- ・鳥取地方裁判所委員会委員
- ・鳥取県公募型プロポーザル方式受注者選定等審査会委員
- ・鳥取市国民健康保険運営協議会会長
- ・鳥取市消費者行政審議会委員



# 吉田 高文

YOSHIDA, Takafumi



教授

所属…経営学部 経営学科  
大学院 環境経営研究科経営学専攻

✉ ta-yoshi@kankyo-u.ac.jp

■ 主な担当科目 ファイナンス入門, コーポレート・ファイナンス

## 研究者略歴

- 1982 (昭和57) 年 3月 名古屋大学経済学部経営学科卒業
- 1985 (昭和60) 年 3月 名古屋大学大学院経済学研究科前期課程修了, 経営学専攻
- 1988 (昭和63) 年 3月 名古屋大学大学院経済学研究科後期課程単位取得満期退学, 経営学専攻
- 1988 (昭和63) 年 4月 長崎大学経済学部講師
- 1993 (平成 5) 年12月 長崎大学経済学部助教授
- 2009 (平成21) 年 4月 国立大学法人長崎大学経済学部教授
- 2016 (平成28) 年 4月 国立大学法人長崎大学名誉教授
- 2017 (平成29) 年 4月～ 公立鳥取環境大学経営学部経営学科教授
- 2018 (平成30) 年 4月～ 公立鳥取環境大学大学院環境経営研究科経営学専攻教授

■ 取得学位 経済学修士 (名古屋大学)

■ 専門分野 経営財務論, 企業経済論

## 現在の研究テーマ

- ・ 財務均衡理論の研究  
ノーベル経済学賞を受賞したM.H.Miller教授やE.Fama教授らによって展開された財務理論の均衡モデルを研究している。
- ・ 日本の中小企業の事業承継  
日本の中小企業の事業承継に関わる諸課題や企業評価のあり方について研究している。
- ・ ケースメソッド教育の研究  
経営事例を用いたケースメソッド教育の研究やケースの開発を行っている。

■ 受賞歴 1998 (平成10) 年8月九州郵政局長賞 (九州郵政局)

■ 所属学会 日本経営学会, 日本経営財務研究学会, 日本マネジメント学会, 九州経済学会

## 研究等活動

### 【著書】

- ・ 『現代経営学—経営学研究の新潮流—』 (共著, 櫻井克彦編), 2006年, 税務経理協会
- ・ 『企業財務制度の構造と変容』 (共著, 牟田正人・池上恭子編), 2006年, 九州大学出版会

### 【論文】

- ・ 「中小企業の事業承継問題と企業評価」, 2013年, 日本経営学会編『経営学論集第83集新しい資本主義と企業経営』千倉書房
- ・ 「戦略的CSR構想の矛盾」 (共著), 2009年, 日本経営学会編『経営学論集第79集日本企業のイノベーション』千倉書房

### 【学会報告】

- ・ 「中小企業の企業価値評価」, 2015年, 日本産業経済学会第65回研究部会
- ・ 「中小企業の事業承継における財務的課題」, 2012年, 日本経営学会九州部会例会

## 社会貢献活動

- ・ 八頭町総合戦略検証委員会委員長, 平成29年度～現在
- ・ 鳥取県指定管理候補者審査・指定管理施設運営評価委員会委員, 平成29年度～令和4年度

# 今井 正和



副学長（教育、研究、情報、企画・評価担当）  
人間形成教育センター長・教授

IMAI, Masakazu

所属…経営学部 経営学科  
大学院 環境経営研究科 経営学専攻

## Profile

■主な担当科目 データベース

### 研究者略歴

|                  |   |
|------------------|---|
| 1982 (昭和57) 年 3月 | 大阪大学基礎工学部制御工学科卒業  |
| 1984 (昭和59) 年 3月 | 大阪大学大学院基礎工学研究科博士前期課程修了  |
| 1987 (昭和62) 年 3月 | 大阪大学大学院基礎工学研究科博士後期課程修了  |
| 1987 (昭和62) 年 4月 | 大阪大学助手基礎工学部   |
| 1991 (平成 3) 年 7月 | 大阪大学講師基礎工学部   |
| 1993 (平成 5) 年 4月 | 奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科助教授   |
| 1997 (平成 9) 年 9月 | 米国The University of Michigan客員助教授(～1998年7月)   |
| 2001 (平成13) 年 4月 | 鳥取環境大学環境情報学部情報システム学科教授  |
| 2003 (平成15) 年10月 | 放送大学客員教授(～2005年3月)  |
| 2005 (平成17) 年 4月 | 鳥取環境大学大学院環境情報学研究科環境情報学専攻教授  |
| 2012 (平成24) 年 4月 | 鳥取環境大学経営学部経営学科教授  |
| 2014 (平成26) 年 4月 | 鳥取環境大学人間形成教育センター センター長, 副学長補佐(教育・学生生活・就職担当)   |
| 2014 (平成26) 年 6月 | 鳥取環境大学情報メディアセンター 副センター長   |
| 2015 (平成27) 年 4月 | 公立鳥取環境大学人間形成教育センター センター長, 副学長補佐(教育担当, 学生生活・就職担当, 情報担当, 企画・評価担当), 人間形成教育センター センター長, 経営学部経営学科教授, 大学院環境情報学研究科環境情報学専攻教授 |
| 2016 (平成28) 年 4月 | 公立鳥取環境大学副学長(教育担当, 学生生活・就職担当, 情報担当, 企画・評価担当), 人間形成教育センター センター長, 経営学部経営学科教授, 大学院環境経営研究科経営学専攻教授                        |
| 2017 (平成29) 年 4月 | 公立鳥取環境大学副学長(教育, 研究, 情報, 企画・評価担当), 人間形成教育センター センター長, 経営学部経営学科教授, 大学院環境経営研究科経営学専攻教授                                   |

## Research

■取得学位 工学博士(大阪大学)

■専門分野 インターネット応用, 環境計測, デジタルアーカイブ

■現在の研究テーマ  
・ネットワークを使用した密な気象データの収集  
・ネットワークを用いた場の共有  
・情報の蓄積と活用

■受賞歴  
1996 (平成 8) 年3月 電子情報通信学会第7回データ工学ワークショップ (DEWS' 96) 最優秀論文賞  
2004 (平成16) 年9月 電子情報通信学会情報システムソフトウェア活動功労賞  
2007 (平成19) 年1月 JGN2利用促進賞(地域貢献優秀賞)  
(JBプロジェクト, 地域間相互接続実験プロジェクトⅡ)  
2008 (平成20) 年1月 JGN2アワード地域貢献・人材育成賞  
(JBプロジェクト, 地域間相互接続実験プロジェクトⅡ)  
2015 (平成27) 年6月 中国情報通信懇談会 地域情報化貢献賞

■所属学会 IEEE, 電子情報通信学会, 情報処理学会, 人工知能学会, システム制御情報学会, 日本情報考古学会

## Data

### 研究等活動

#### 【著書】

- ・「第15話 ロボコップの作り方ー脳とコンピュータの違い」, 地球環境時代のIT読本, 2002年, 丸善(共著)
- ・「第4章 電子図書館と分散大規模ネットワーク」, 電子図書館とマルチメディア・ネットワーク, 1996年12月, 日本図書館協会(共著)

#### 【論文】

- ・「Implementation of high-definition lecture recording system for daily use」(共著), 2013年, Proc. of EDUCON2013, pp. 510-525
- ・「Live E!を活用した小学生の理科学習を支援するシステム」(共著), 2012年, インターネットコンファレンス2012論文集, pp.115-116
- ・「クラウド時代のデータ保存」(単著), 2012年, 印刷雑誌, Vol. 95, No. 3, pp.7-12
- ・「クラウド時代にどのようにデータを保存し, 残していくか」, 2011年, 画像4学会合同研究会「画像資産の復元と伝承」
- ・「講義ビデオの活用に向けた講義音声の発話特徴分析」(共著), 2011年, 情報処理学会教育学習支援情報システム研究会
- ・「鳥取-熊本間での講義ビデオ遠隔自動収録の試みについて」(共著), 2010年, 情報処理学会教育学習支援情報システム研究会
- ・「Live E!データ可視化アプリケーションの開発」(共著), 2009年, 電子情報通信学会インターネットアーキテクチャ研究会
- ・「Live E!センサの日南町への展開」(共著), 2009年, 電子情報通信学会インターネットアーキテクチャ研究会
- ・「空間的に密な温度変化を計測するシステムの構築」(共著), 2009年, 電子情報通信学会インターネットアーキテクチャ研究会
- ・「センサ設置場所が計測結果に与える影響」(共著), 2008年, 電子情報通信学会インターネットアーキテクチャ研究会
- ・「考古学写真のメタデータとそのデータベース構築への応用」(単著), 2008年, 情報処理学会デジタルドキュメント研究会
- ・「鳥取環境大学のセンサ設置についてー一日向のセンサ日陰のセンサー」(共著), 2007年, Live E! シンポジウム2007
- ・「メタデータを用いた考古学遺跡写真ライブラリの構築」(共著), 2007年, 日本情報考古学会誌「情報考古学」, Vol. 13, No. 1
- ・「地域ネットワークを利用した高校への遠隔授業」(単著), 2007年, 第8回 インターネットテクノロジーワークショップ
- ・「考古学写真デジタルライブラリ」(共著), 2007年, 第8回 インターネットテクノロジーワークショップ
- ・「An Experiment Using JGN v6 at Tottori University of Environmental Studies」(共著), 2004年, Proc. of SAINT 2004 Workshops
- ・「Hand Pose Estimation for Vision-based Human Interfaces」(共著), 2003年, IEEE Transactions on Industrial Electronics, Vol. 50, No. 4
- ・「考古遺跡写真ライブラリの構築」(共著), 2002年, 日本情報考古学会誌「情報考古学」, Vol. 7, No. 2

### 社会貢献活動

- ・鳥取県ICT活用教育推進協議会座長(2014年)
- ・鳥取市公文書管理のあり方等研究会委員長(2015年)
- ・鳥取県私立学校審議会会長(2016年～)
- ・鳥取市公文書管理検討委員会委員長(2016年～)
- ・鳥取市特定個人情報保護評価審査会(2017年～)



# 染谷 治志

SOMEYA, Harushi



教授

所属…経営学部 経営学科  
大学院 環境経営研究科経営学専攻

URL <https://sites.google.com/site/someyalaboratory/>

someya@kankyo-u.ac.jp

Profile

■ **主な担当科目** 経営情報論, 経営情報システム, 情報産業論

■ **研究者略歴**

|                  |  |
|------------------|--|
| 1984 (昭和59) 年 3月 | 早稲田大学理工学部電気工学科卒業                           |
| 1986 (昭和61) 年 3月 | 早稲田大学大学院理工学研究科電気工学専攻修了, 修士 (工学)            |
| 1986 (昭和61) 年 4月 | (株) 日立製作所システム開発研究所勤務 (～1993年2月)            |
| 1993 (平成 5) 年 3月 | (株) 日立製作所コンピュータ事業部製品企画本部勤務 (～1995年2月)      |
| 1995 (平成 7) 年 3月 | (株) 日立製作所システム開発研究所勤務 (～2009年3月)            |
| 2006 (平成18) 年 3月 | 早稲田大学大学院情報生産システム研究科情報生産システム工学専攻修了, 博士 (工学) |
| 2007 (平成19) 年10月 | 早稲田大学大学院情報生産システム研究センター非常勤客員講師 (～2009年3月)   |
| 2009 (平成21) 年 4月 | 鳥取環境大学環境情報学部情報システム学科教授                     |
| 2010 (平成22) 年 4月 | 鳥取環境大学大学院環境情報学研究科環境情報学専攻教授                 |
| 2012 (平成24) 年 4月 | 鳥取環境大学経営学部経営学科教授                           |
| 2015 (平成27) 年 4月 | 公立鳥取環境大学経営学部経営学科教授, 大学院環境情報学研究科環境情報学専攻教授   |
| 2016 (平成28) 年 4月 | 公立鳥取環境大学大学院環境経営研究科経営学専攻教授                  |

Research

■ **取得学位** 博士 (工学) (早稲田大学)

■ **専門分野** 情報システム学, システム工学

■ **現在の研究テーマ**

- ・ Smart Information Systems :  
環境の中のコンピュータの方から人間にアクセスを試み, 所望の情報を提供したり, 状況に応じてアドバイスしたりするなど, 人間の状況を的確に理解し, 最適な情報環境を提供するシステムの創造研究 (人の生活習慣を可視化し, 病気の兆候発見など生活環境をサポートするライフログ応用, 「環境がユーザをナビゲーションする」実世界コンテンツとデジタルコンテンツの融合など)
- ・ Socio-information Systems :  
ダイナミックで複雑な社会や経営の問題に対して, さまざまな要素の繋がりを「システム」として捉え, その構造の全体像を俯瞰し, 挙動を分析・理解して, よりよい社会システムにする改善策や新たなシステムの創造研究 (ビジネスモデルの分析・デザイン, 人間行動のダイナミクスのビジネスプロセスへの応用, 地域生活情報や観光情報などの地域知の発見と利活用など)

■ **所属学会** 電子情報通信学会, 情報処理学会, 情報システム学会

Data

■ **研究等活動**

※2012年4月以降の活動成果

【講演】

・「人工知能(AI)はビジネスをどう変える?」, はりま産学交流会創造例会, 17 Jun. 2016

【論文】

- ・ AR 学内案内アプリの試作, 2020年度 (第71回) 電気・情報関連学会中国支部連合大会, R20-25-02-05, 24 Oct. 2020
- ・ 「科目履修登録支援システムの開発」 (共著), 平成24年度電気・情報関連中国支部連合大会, 20 Oct. 2012
- ・ 「Smart Door Plateの開発」 (共著), 平成24年度電気・情報関連中国支部連合大会, 20 Oct. 2012
- ・ 「大学現況情報提供システム「TUESnow」の開発」 (共著), 平成24年度電気・情報関連中国支部連合大会, 20 Oct. 2012

【ビジネスコンテスト】

・ 「もみじの天ぷらを大阪名物に!」, 大学生観光まちづくりコンテスト2015(大阪ステージ)ポスターセッション選出, 18 Sep. 2015

■ **社会貢献活動**

【学会および社会活動】

- ・ 2018年12月: 鳥取県公募型プロポーザル方式受注者選定等審査会委員 (至: 2019年3月)
- ・ 2018年6月: 電子情報通信学会ソフトウェアインテグリティモデリング研究専門委員会委員 (現在に至る)
- ・ 2016年6月: 平成28年度県立高校・大学教員交流事業 特別講義 (サイエンスゼミ) 「体験! 経営シミュレーション」 (於: 鳥取県立鳥取東高等学校)
- ・ 2016年6月: 公立鳥取環境大学公開講座2016 「暮らしの未来とICT-ICT端末の新形態」 (於: 鳥取)
- ・ 2015年5月: 電気学会人と調和する支援技術の実現化協同研究委員会委員 (至: 2018年3月)
- ・ 2012年11月: 電気学会人間の豊かな活動支援技術の実現化協同研究委員会委員 (至: 2015年3月)
- ・ 2011年5月: 鳥取環境大学公開講座2011 「情報通信と生活: デジタル化する身近なもの」 (於: 鳥取, 米子)
- ・ 2011年4月: 電子情報通信学会システム数理と応用研究会委員 (至: 2015年3月)
- ・ 2010年10月: 電気学会高品質人間活動支援技術共同研究委員会委員 (至: 2012年10月)
- ・ 2010年1月: 電気学会高品質生活を達成する科学技術に関する協同研究委員会委員 (至: 2010年9月)
- ・ 2009年12月: 鳥取県産学官コーディネータ連携推進委員 (至: 2012年3月)
- ・ 2007年3月: 電気学会論文委員 (現在に至る)

# 齊藤 明紀

SAITOH, Akinori



情報メディアセンター長  
教授

所属…経営学部 経営学科  
大学院 環境経営研究科経営学専攻

[saitoh@kankyo-u.ac.jp](mailto:saitoh@kankyo-u.ac.jp)

## Profile

|                  |   |
|------------------|---|
| <b>主な担当科目</b>    | インターネット, 情報倫理, 計算機の基礎                       |
| <b>研究者略歴</b>     |   |
| 1991 (平成 3) 年 3月 | 大阪大学大学院基礎工学研究科物理系専攻後期課程修了, 工学博士             |
| 1991 (平成 3) 年 4月 | 大阪大学基礎工学部情報工学科 助手                           |
| 1994 (平成 6) 年 2月 | 大阪大学情報処理教育センター 講師                           |
| 1999 (平成11) 年 4月 | 大阪大学大学院基礎工学研究科情報数理系専攻 講師                    |
| 2002 (平成14) 年 4月 | 大阪大学 大学院情報科学研究科コンピュータサイエンス専攻 助教授            |
| 2004 (平成16) 年 7月 | 鳥取環境大学環境情報学部情報システム学科教授                      |
| 2005 (平成17) 年 4月 | 鳥取環境大学大学院環境情報学研究科環境情報学専攻教授                  |
| 2012 (平成24) 年 4月 | 鳥取環境大学経営学部経営学科教授                            |
| 2014 (平成26) 年 4月 | 鳥取環境大学大学院環境情報学研究科情報システム領域主任(兼担)             |
| 2016 (平成28) 年 4月 | 公立鳥取環境大学情報メディアセンター長 (兼担), 大学院環境経営研究科経営学専攻教授 |

## Research

|                 |   |
|-----------------|---|
| <b>取得学位</b>     | 工学博士(大阪大学)  |
| <b>専門分野</b>     | 情報工学  |
| <b>現在の研究テーマ</b> | ・分散システム運用技術<br>・工学教育  |
| <b>受賞歴</b>      | 1986 (昭和61) 年3月 大阪大学基礎工学部情報工学科楠本賞 (主席卒業) 受賞<br>2002 (平成14) 年5月 情報処理学会 平成13年度論文賞受賞<br>2012 (平成24) 年3月 情報処理学会 平成23年度山下記念研究賞受賞<br>2014 (平成26) 年10月 デミング賞委員会 平成26年度日経品質文庫賞受賞 (『新版 信頼性ハンドブック』に対して) |
| <b>所属学会</b>     | 情報処理学会, 電子情報通信学会  |

## Data

|                 |   |
|-----------------|---|
| <b>研究等活動</b>    |   |
| <b>【論文】</b>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>「共同採点と再提出レポートの取り扱いを支援するコース管理システムの開発」(共著), 2010年9月, 学術情報処理研究, No.14</li> <li>「Using coLinux to Provide a Linux Environment on Windows PC in Public Computer Labs」(共著), 2006年11月, ACM SIGUCCS 2006 Fall Conference</li> <li>「ルータ上のパケットフィルタで端末間通信を処理するための DHCPサーバ構成法」(共著), 2005年4月, 情報処理学会論文誌, Vol.46, No.4</li> </ul>  |
| <b>【著書】</b>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワークシステムの信頼性保証(分担執筆), 2014年7月, 新版 信頼性ハンドブック</li> </ul>   |
| <b>【報告書】</b>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>「個人必携パソコンによる情報環境 -- 鳥取環境大学の事例-」, 2016年9月, SS研究会教育分科会第1回会合</li> <li>「[WIP]情報コンセント検査支援ツールへの取組み」, 2014年12月, 情報処理学会IoTシンポジウム2014</li> <li>「Android端末を利用した乳幼児見守りシステム」(共著), 2014年12月, 情報処理学会IoTシンポジウム2014</li> <li>「情報コンセントのためのハブポート対応表調査生成ツール」, 2012年3月, 情処技報IOT-16-23</li> <li>「個人必携パソコンによる情報環境 -- 鳥取環境大学の事例-」, 2010年5月, 情処技報IOT-9-11</li> <li>「省電力のための運休スケジュール参照機能を持つ機器監視システムの試作」(共著), 2010年3月, 情処技報IOT-8-2</li> <li>「省力化を実現するための忘れパスワード再設定システム」(共著), 2009年3月, 情処技報IOT-4-29</li> <li>「鳥取環境大学のリテラシー教育への取組み」(共著), 2006年9月, 大阪大学サイバーメディアフォーラム, No.6</li> </ul> |
| <b>【口頭発表】</b>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>「問題提起 『日々は修行』の代わりは?」, 2015年9月, LightweightLanguage2015, ライトニングトーク</li> <li>「サイバーセキュリティ 2016 ~技術と人間~, 2016年11月, 鳥取県サイバーテロ対策協議会</li> <li>「サイバーセキュリティ 2018 ~技術と人間~, 2018年11月, 鳥取県サイバーテロ対策協議会</li> </ul>   |
| <b>【社会貢献活動】</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>日本UNIXユーザ会幹事</li> <li>関西オープンフォーラム実行委員</li> <li>鳥取県警察サイバーセキュリティ対策アドバイザー</li> <li>情報処理学会IoT研究会運営委員</li> </ul>  |

# 磯野 誠

ISONO, Makoto



教授

所属…経営学部 経営学科  
大学院 環境経営研究科 経営学専攻

URL [www.makotoisono.com](http://www.makotoisono.com)

E-mail [m-isono@kankyo-u.ac.jp](mailto:m-isono@kankyo-u.ac.jp)

## Profile

■ **主な担当科目** (学部)マーケティング2, 商品開発論, ブランド論 (大学院)マーケティング特論, リサーチデザイン特論

### ■ 研究者略歴

|                  |   |
|------------------|---|
| 1990 (平成 2) 年 3月 | 千葉大学工学部工業意匠学科卒業, 工学士 (ID)                             |
| 2004 (平成16) 年 9月 | 神戸大学大学院経営学研究科専門職学位課程現代経営学専攻修了, 経営学修士 (専門職)            |
| 2008 (平成20) 年 3月 | 神戸大学大学院経営学研究科博士後期課程現代経営学専攻修了, 博士 (商学)                 |
| 1991 (平成 3) 年 9月 | 横河電機株式会社 (~ 1999年11月)                                 |
| 2000 (平成12) 年 2月 | Procter & Gamble Far East Inc. (~ 2009年6月)            |
| 2007 (平成19) 年 3月 | The Procter & Gamble Company (OH, USA) 出向 (~ 2008年6月) |
| 2009 (平成21) 年 2月 | 神戸大学大学院経営学研究科研究員 (~ 2011年1月)                          |
| 2009 (平成21) 年10月 | 九州共立大学経済学部准教授 (~ 2012年3月)                             |
| 2012 (平成24) 年 4月 | 鳥取環境大学経営学部経営学科准教授                                     |
| 2013 (平成25) 年 4月 | 鳥取環境大学大学院環境情報学研究科環境情報学専攻准教授                           |
| 2015 (平成27) 年 4月 | 公立鳥取環境大学経営学部経営学科准教授, 大学院環境情報学研究科環境情報学専攻准教授            |
| 2016 (平成28) 年 4月 | 公立鳥取環境大学経営学部経営学科教授, 大学院環境経営研究科経営学専攻教授                 |

## Research

■ **取得学位** 博士 (商学) (神戸大学)

■ **専門分野** マーケティング, 新製品開発, ブランド, デザイン

■ **現在の研究テーマ** ・新製品・サービスのアイデア開発における創造性  
・地域創生のためのマーケティング

■ **所属学会** 日本デザイン学会, 日本商業学会, 日本消費者行動研究学会, 地域デザイン学会

## Data

### ■ 研究等活動

#### 【著書】

- ・「地方創生のための経営学入門」(共編著), 2019年, 今井出版。
- ・「新製品コンセプト開発におけるデザインの役割」, 2014年, 丸善出版。
- ・「アイデアの意図と魅力を考える」(共著), 2013年, ふくろう出版。

#### 【論文】

- ・「ビジョニングによる製品アイデア創出における認知プロセス」, 2020年, 『デザイン学研究』67(2), 1-10。
- ・「自治体のためのブランディング」, 2020年, 『国際文化研修』108, 11-16。
- ・「新製品アイデア開発における視覚化とアナログ活用の効果」(共著), 2019年, 『国民経済雑誌』220(6), 1-17。
- ・「創造的視覚化を活用する新製品コンセプト開発」, 2011年, 『季刊マーケティング・ジャーナル』, Vol.120, pp.43-58。
- ・「新製品開発とデザイン」, 2008年, 『季刊マーケティング・ジャーナル』, Vol.109, pp.91-100。

#### 【Proceedings】

- ・"From Vision to Idea: The Cognitive Process of Vision-Driven Idea Development," 2018 The Proceedings of 25th International Product Development Management Conference.
- ・「新製品アイデア開発における文脈想像の性質と動き」, 2017年, 『日本マーケティング学会カンファレンス・プロシーディングス』, Vol.6, pp.158-167。
- ・「新製品アイデア開発における視覚化と複数アイデア創出の効果」, 2014年, 『日本マーケティング学会カンファレンス・プロシーディングス』, Vol.3, pp.85-96。
- ・「新製品アイデア開発におけるアナロジーと視覚化活用の効果」(共著), 2013年, 日本商業学会第63回全国大会報告論集, pp.69-72。
- ・"The 'Build to Think' Orientation - When an Organization Uses Design for Their Concept Development," 2011年, The Proceedings of 18th International Product Management Conference, p.157。

#### 【紀要】

- ・「中小企業による新製品開発の成功要因—開発成果に結びつくFEフェーズ管理」, 2018年, 『地域イノベーション研究』6, 50-52。
- ・「顧客のフロー体験と感動, 満足, ロイヤルティとの関係」, 2017年, 『公立鳥取環境大学紀要』, 15号, pp.19-29。
- ・「新製品アイデア開発におけるイメージ活用効果」, 2016年, 『公立鳥取環境大学紀要』, 14号, pp.26-39。
- ・「いかに市場機会を特定するか—新製品開発FEフェーズ研究レビュー—」, 2015年, 『鳥取環境大学紀要』, 13号, pp.41-57。
- ・「中山間集落住民にとっての買い物の意義—買い物行動の快樂的側面を含めた検討—」, 2015年, 『鳥取環境大学紀要』, 13号, pp.129-138。
- ・「大学教育成果としての学生自己成長感」(共著), 2012年, 『九州共立大学研究紀要』, 2(2), pp.25-38。
- ・「大学におけるバランスト・スコアカード経営の可能性」(共著), 2012年, 『九州共立大学研究紀要』, 2(2), pp.45-61。
- ・「購買起点ニーズ」を仮定する新製品コンセプト開発」, 2011年, 『九州共立大学研究紀要』, 2(1), pp.25-40。

#### 【著書分担】

- ・「BSCIによる阿蘇農耕景観保全活動マネジメントの提案」, 2017年, 横川洋・高橋佳子編, 『阿蘇地域における農耕景観と生態系サービス』, 農林統計出版, 341-356。

### ■ 社会貢献活動

- ・企業マネジメント職向けデザインマネジメント・コンサルティング (ネスレ日本, サントリー, 加納デザイン事務所等)
- ・地域経営者向けマーケティング・セミナー講師 (公立鳥取環境大学公開講座, 鳥取県東部西商工会産業支援センター主催, 等)
- ・自治体職員のためのマーケティング研修講師 (全国市町村国際文化研修所: 2017-; 鳥取県: 2015-)
- ・鳥取県の民芸・伝統工芸の次世代のための研修会講師 (2015-2017)
- ・教員免許状更新講習講師 (テーマ:「創造性を引き出す」) (2020); 放送大学面接授業講師 (2016)
- ・鳥取県農工商連携促進ファンド事業審査委員会 (2017-); 鳥取県消費生活審議会委員 (2015-)

# 西村 教子

NISHIMURA, Noriko



国際交流センター副センター長  
教授

所属…経営学部 経営学科  
大学院 環境経営研究科 経営学専攻

Profile

|                  |  |
|------------------|--|
| ■主な担当科目          | 現代経済学入門, ビジネス・エコノミクス, 社会経済と人口                              |
| ■研究者略歴           |  |
| 2001 (平成13) 年 3月 | 神戸大学大学院国際協力研究科博士後期課程国際開発政策専攻修了                             |
| 2002 (平成14) 年 4月 | 鳥取環境大学環境情報学部環境政策学科専任講師                                     |
| 2005 (平成17) 年 4月 | 鳥取環境大学環境情報学部環境政策学科助教授                                      |
| 2007 (平成19) 年 4月 | 鳥取環境大学環境情報学部環境政策学科・大学院環境情報学研究科環境情報学専攻准教授                   |
| 2012 (平成24) 年 4月 | 鳥取環境大学経営学部経営学科准教授  |
| 2015 (平成27) 年 4月 | 公立鳥取環境大学経営学部経営学科教授   |
| 2016 (平成28) 年 4月 | 公立鳥取環境大学副学長補佐 (広報担当, 研究担当, 地域連携・国際交流担当), 大学院環境経営研究科経営学専攻教授 |
| 2018 (平成30) 年 4月 | 公立鳥取環境大学国際交流センター副センター長                                     |

Research

|           |  |
|-----------|--|
| ■取得学位     | 博士 (学術) (神戸大学)   |
| ■専門分野     | 開発経済学, 人口経済学   |
| ■現在の研究テーマ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・農村地域の女性の就業選択および生活実態に関する実証研究</li> <li>・農家世帯の家族形成に関する実証研究</li> <li>・経済的認知と不確実性に対する経済行動の計量分析</li> </ul> |
| ■所属学会     | 国際開発学会, PASL, 経済統計学会, 日本人口学会, 日本地域学会   |

Data

|        |  |
|--------|--|
| ■研究等活動 |  |
| 【論文】   |  |
|        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「危険回避と時間選好が男性の晩婚化・未婚化にもたらす影響」, 2020年2月ソシオネットワーク戦略ディスカッションペーパーシリーズ第82号, 関西大学ソシオネットワーク戦略研究機構</li> <li>・「農林業センサスの高度利用: 世帯パネルから世帯員パネルへ」 (共著), 2017年5月, 『農業と経済』, 第83巻第5号, 71 ~ 80頁 (共著)</li> <li>・「農林業センサスにおける世帯員パネルデータの構築実験」 (共著), 2017年, 『農林水産統計デジタルアーカイブ講座Working Paper Series』, No.6.</li> <li>・「日本の農家配偶者女子の就業行動の規定要因に関する考察」 (共著), 2016年, 『農林水産統計デジタルアーカイブ講座Working Paper Series』, No.5.</li> <li>・「資産選択に関わる相対的危険回避度, 時間割引率と認知能力—意思決定に関する意識調査(2014年)—」, 2015年3月ソシオネットワーク戦略ディスカッションペーパーシリーズ第37号, 関西大学ソシオネットワーク戦略研究機構</li> <li>・「経済的な判断に関わる認知能力の検討—公的年金に関する意識調査(2012年度)—」, 2014年7月ソシオネットワーク戦略ディスカッションペーパーシリーズ第35号, 関西大学ソシオネットワーク戦略研究機構</li> <li>・"Technological Progress and the Wage Growth of Older Japanese Workers." (共著), 2013年, The Review of Socionetwork Strategies, vol.7no.2</li> <li>・「鳥取県における少子化の構造要因の分析」, 2009年3月, 『鳥取環境大学紀要』第7号 (鳥取環境大学)</li> </ul> |



# 光山 博敏

MITSUYAMA, Hirotochi



教授

所属…経営学部 経営学科  
大学院 環境経営研究科 経営学専攻

[mitsu414@kankyo-u.ac.jp](mailto:mitsu414@kankyo-u.ac.jp)

Profile

**■主な担当科目** 経営戦略論 I, 事業創造論, 中小企業経営論, 経営戦略特論

**■研究者略歴**

|                  |                                      |
|------------------|--------------------------------------|
| 2007 (平成19) 年 7月 | BYORA U.S.A. Corporation             |
| 2012 (平成24) 年 4月 | 福井県立大学 地域経済研究所                       |
| 2014 (平成26) 年 4月 | 信州大学 グローバル教育推進センター 准教授               |
| 2016 (平成28) 年 4月 | 信州大学 経営大学院 兼任 准教授                    |
| 2017 (平成29) 年 4月 | 信州大学 全学教育機構 特任准教授                    |
| 2018 (平成30) 年 4月 | 公立鳥取環境大学 経営学部経営学科 准教授                |
| 2018 (平成30) 年 7月 | 公立鳥取環境大学 大学院環境経営研究科経営学専攻 兼任 准教授      |
| 2021 (令和 3) 年 4月 | 公立鳥取環境大学 経営学部経営学科/大学院環境経営研究科経営学専攻 教授 |

Research

**■取得学位** 博士 (技術経営) (立命館大学MOT大学院)

**■専門分野** 技術経営, 技術戦略, イノベーション戦略

**■現在の研究テーマ** ・IoT化の阻害要因とミドルウェア共通モジュールを起点としたビジネスプロセス研究  
・日本メーカーが有する技術的, 組織的ケイパビリティを基点とした戦略経営およびイノベーション経営に関する研究

**■所属学会** 組織学会, 日本MOT学会, 研究・イノベーション学会

Data

**■研究等活動**

**【著書】**

- ・『現場力-強い日本企業秘密-』(共著), (2020), 筑摩書房
- ・『地方創生のための経営学入門』(共著), (2019) 今井書店
- ・『一橋ビジネスレビュー』(共著), (2017冬号) 東洋経済新報社
- ・『アジア大の分業構造と中小企業』33巻(共著), (2014) 同友館
- ・『Capability building for organizational transformation』(共著), (2013) Bloomsbury Publishing
- ・『International conference on management cases』(共著), (2012) Macmillan Publishers

**【論文】**

- ・Consideration on the Essence of Industry 4.0. (2019) International Journal of Business and Management Studies, 12 (1) pp.43-50.
- ・"Understanding the Essential Features of Industry 4.0 in Germany" (2018) International Journal of Business and Management Studies, 6 (2):pp.441-450.
- ・"A Comparative Study on the Impact of in-House Manufacturing Machinery Departments on Sustainable Competitive Advantage." (2017) International Journal of Business and Management Studies, Vol.5 (2):pp.1-8.
- ・"A Study of Trans-Generational Manufacturing Design Paradigm Paralysis in Japan." (2016) International Journal of Business and Management, Vol.8 (5):pp.37-48.
- ・"A Study on the Correlation between Inimitable Factors and Sustainable Competitive Advantage for Detail Controlled Parts Manufacturers in Japan." (2015) International Journal of Business and Management Studies, Vol.3 (2):pp.137-147.
- ・"The Hidden Competitiveness of Japanese Manufacturing Industry" (2013) Macrotheme Review, Vol.2 (3):pp.10-21.
- ・"Consideration of the Technology Brands and Price Premium Strategies for SPM in Japan." (共著), (2013) International Journal of Business Performance Management, Vol.14 (4):pp. 356-367.

**■社会貢献活動**

- ・一般社団法人 日本能率協会「生産・開発マネジメントコース」講師
- ・立命館大学OIC 総合研究機構 グローバルMOT研究センター 客員研究員
- ・一般社団法人 経営研究所, サブコーディネーター (2014~2015)

**【講演会】**

- ・『インダストリー 4.0から再考する日本のものづくりと持続的競争優位性』 一般社団法人日本能率協会 (2020)
- ・『イノベーション時代における戦略思考の重要性』 一般社団法人日本能率協会 (2020)
- ・『ドイツ・インダストリー 4.0の総括とものづくりの今後』 一般社団法人日本能率協会 (ドイツ) (2019)
- ・『ドイツ インダストリー 4.0からものづくりの本質を再考する』 一般社団法人日本能率協会 (2019)
- ・『競争力強化に向けた戦略思考の重要性』 一般社団法人日本能率協会 (2019)
- ・『デジタル環境下における 戦略思考の重要性』 オリパス株式会社 (2019)
- ・『リーバイ・ストラウス社と企業倫理 ~ Critical Thinkingを起点として~』 オリパス株式会社 (2019)
- ・『ドイツ・インダストリー 4.0の技術的障壁とものづくりの本質』 一般社団法人日本能率協会 (2018)
- ・『ボーダーレス市場環境下における 戦略思考の重要性』 一般社団法人日本能率協会 (ドイツ) (2018)
- ・『インダストリー 4.0の最新動向について』 全日本電機・電子・情報関連産業労働組合連合会 (電機連合) (2018)
- ・『インダストリー 4.0の崩壊が示唆するものづくりの重要な部分』 共同報告 東京大学ものづくり経営研究コンソーシアム (2018)
- ・『ビジネスモデルを踏まえた戦略思考の重要性』 ~産業のボーダーレス化がもたらす機会と脅威~ 富士電機パワーセミコンダクタ株式会社 (2017)
- ・『インダストリー 4.0および労働4.0の動向について』 労働運動総合研究所 (労働総研) (2017)



# 俞 成華

Yu, Chenghua



教授

所属…経営学部 経営学科  
大学院 環境経営研究科 経営学専攻

Profile

**主な担当科目** (学部) 経営学入門, 人的資源管理論, 経営倫理 (大学院) 経営管理特論

**研究者略歴**

|                  |                                       |
|------------------|---------------------------------------|
| 1992 (平成 4) 年 7月 | 中国福建医科大学 基礎医学部 卒業                     |
| 1997 (平成 9) 年 3月 | メロス言語学院 (日本語学校) 修了                    |
| 2001 (平成13) 年 3月 | 東京都立大学 経済学部 卒業                        |
| 2003 (平成15) 年 3月 | 横浜国立大学大学院 国際社会科学部 博士課程前期 経営学修士 修了     |
| 2006 (平成18) 年 3月 | 横浜国立大学大学院 国際社会科学部 博士課程後期 経営学博士 修了     |
| 2008 (平成20) 年 4月 | 首都大学東京 都市教養学部非常勤講師 (～2009年3月)         |
| 2009 (平成21) 年 4月 | 帝京平成大学 現代ライフ学部レジャービジネス学科助教 (～2012年3月) |
| 2012 (平成24) 年 4月 | 東京大学 ものづくり経営研究センター 特任研究員 (～2012年8月)   |
| 2012 (平成24) 年 9月 | 中国福建工程学院 管理学院マーケティング学科准教授 (～2016年3月)  |
| 2016 (平成28) 年 4月 | 九州国際大学 現代ビジネス学部地域経済学科特任教授 (～2018年3月)  |
| 2018 (平成30) 年 4月 | 公立鳥取環境大学 経営学部経営学科准教授                  |
| 2018 (平成30) 年 7月 | 公立鳥取環境大学大学院 環境経営研究科 経営学専攻准教授          |
| 2021 (令和 3) 年 4月 | 公立鳥取環境大学 経営学部経営学科 兼任 環境経営研究科 経営学専攻 教授 |

Research

**取得学位** 経営学博士 (横浜国立大学)

**専門分野** 経営学 (人的資源管理, 国際経営, 組織間関係)

**現在の研究テーマ**

- ・中国中外合弁企業のR&D
- ・日本の経営・生産システムの海外移転可能性
- ・人的資源管理の国際比較
- ・中国電気自動車のR&D・普及と環境戦略

**受賞歴**

- ・2013 (平成25) 年12月 中国福建省重点課題優秀調研究成果特別賞
- ・2018 (平成30) 年 3月 九州国際大学平成29年度「優秀教育教員」(ベストティーチャー賞)

**所属学会** 日本経営学会, 日本労務学会, 中国経済経営学会

Data

**研究等活動**

- 【著書】**
- ・『アフリカの日本企業－日本の経営生産システムの移転可能性－』(共著) 第10章「中国企業のアフリカ経営」, 2019年3月, 時潮社.
  - ・『地方創生のための経営学入門』(共著) 序章「経営学の基本」, 第4章「人的資源管理」, 2019年3月, 今井出版社.
  - ・『日中合弁企業のマネジメント－技術・資金・人的資源』, 2013年4月, ミネルヴァ書房.
- 【論文】**
- ・『中国民族系小売企業の関係性マネジメントに関する一考察－永輝超市の事例を中心に』(共著), 2020年12月, 中国経済経営学会『中国経済経営研究』第4巻第2号, PP.20-36.
  - ・『中国の新エネルギー車政策と完成車メーカーの電動化戦略』, 2020年4月, 『公立鳥取環境大学紀要』vol.16, PP.RE11-RE30.
  - ・『海外建設プロジェクトにおける日本の経営の移転可能性に関する研究－東洋建設のケニアモンバサ港コンテナターミナル開発工事の事例』, 2018年3月, 九州国際大学現代ビジネス学会『国際・経済論集』創刊号, PP.163-180.
  - ・『南アフリカにおける日本企業の国際的人資源マネジメント』, 2017年3月, 九州国際大学経済学会『経営経済論集』第23号, PP.87-106.
  - ・『ポスト・アパルトヘイト南アフリカの労使関係に関する一考察－日系企業の事例を中心に』, 2017年3月, 九州国際大学社会文化研究所『社会文化研究所紀要』第78号, PP.1-26.
  - ・『关于着力共性技术创新推进我省产业结构升级的若干意见(共通技術の革新による我が省産業構造のグレートアップを推進する提言)』(共著), 2013年7月, 福建省政策研究室『調研文稿』第6期, PP.55-66.
  - ・『The transferability of Japanese production system in Zimbabwe:A case study of Willowvale Mazda Motor Industries』, 2012年5月, Manufacturing Management Research Center (MMRC), The University of Tokyo, No.402.
  - ・『在南アフリカ企業的人資源マネジメントに関する予備的考察』, 2013年3月, 帝京平成大学『帝京平成大学紀要』第23巻第2号, PP.375-389.
  - ・『中国市場における日系家電企業の販売戦略に関する一考察－日立数字映像(中国)有限公司の事例を中心に』, 2010年10月, 国際ビジネス研究学会『国際ビジネス研究』第2巻第2号, PP.125-139.
  - ・『多様な戦略的アライアンスを生かす東風汽車集団の変革』, 2010年3月, 帝京平成大学『帝京平成大学紀要』第21巻第2号, PP.131-142.
- 【報告書・その他】**
- ・『地域活性化に求められる地方公立大学の役割に関する実証的調査研究－人材開発の視点から－』, 2019年度, 公立鳥取環境大学サステイナビリティ研究所・地域イノベーション研究センター研究成果報告書
  - ・『ナイジェリアにおける中国民営企業のハイブリッド経営に関する研究－金帝靴業(ナイジェリア)有限公司の事例－』, 2019年10月, 法政大学イノベーション・マネジメント研究センター, ワーキング・ペーパーシリーズNo.215.
  - ・『東洋建設のケニアにおける海外事業展開と日本の経営・生産システム』(共著), 2019年10月, 法政大学イノベーション・マネジメント研究センター, ワーキング・ペーパーシリーズNo.215.
  - ・『ケニアの二輪車市場に挑むホンダ・ケニアのハイブリッド経営』(共著), 2019年10月, 法政大学イノベーション・マネジメント研究センター, ワーキング・ペーパーシリーズNo.215.
- 【学会報告】**
- ・『中国自動車の電動化におけるオープンイノベーションに関する一考察－比亚迪の自動車事業を中心に－』, 2020年9月4日, 日本経営学会第94回全国大会 (ZOOM in 慶應義塾大学)
  - ・『中国民族系小売企業の関係性優位に関する考察』, 2019年11月17日, 中国経済経営学会2019年度全国大会 (於 愛知大学)
  - ・『ポスト・アパルトヘイト南アフリカの労使関係に関する一考察』, 2017年9月15日, 日本労務学会第47回全国大会 (於 専修大学)
  - ・『日本企業の国際的人資源マネジメント－南アフリカにおける日系4社の事例を中心に』, 2015年10月, 日本マネジメント学会第72回全国研究大会 (於 香川大学)
  - ・『中国市場における日系企業の競争戦略』, 2014年7月, 横浜国立大学大学院国際社会科学府・研究院第5回グローバルセミナー 招待講演
  - ・『中国市場における日系家電企業の販売戦略に関する考察－日立数字映像(中国)有限公司の事例を中心に』, 2009年10月, 国際ビジネス研究学会第16回全国大会 (於 横浜国立大学)

**社会貢献活動**

- ・西日本学生リーダーズ・スクール「西日本から世界に翔たく異文化交流型リーダーシップ・プログラム」(UNGL) 運営委員(2016年4月～2018年3月)
- ・公立鳥取環境大学公開講座 (2019年度)

# 相川 泰

AIKAWA, Yasushi



准教授

所属…経営学部 経営学科  
大学院 環境経営研究科 経営学専攻

Profile

|                  |   |
|------------------|---|
| <b>主な担当科目</b>    | アジア環境論, アジア社会論, 国際関係入門                    |
| <b>研究者略歴</b>     |   |
| 2004 (平成16) 年 4月 | 鳥取環境大学環境情報学部環境政策学科専任講師                    |
| 2006 (平成18) 年 4月 | 鳥取環境大学環境情報学部環境政策学科助教授                     |
| 2007 (平成19) 年 4月 | 鳥取環境大学環境情報学部環境政策学科・大学院環境情報学研究科環境情報学専攻准教授  |
| 2012 (平成24) 年 4月 | 鳥取環境大学経営学部経営学科准教授                         |
| 2015 (平成27) 年 4月 | 公立鳥取環境大学経営学部経営学科准教授・大学院環境情報学研究科環境情報学専攻准教授 |
| 2016 (平成28) 年 4月 | 公立鳥取環境大学大学院環境経営研究科経営学専攻准教授                |

Research

|                 |  |
|-----------------|--|
| <b>取得学位</b>     | 修士 (学術) (東京大学)   |
| <b>専門分野</b>     | 中国環境研究, 東アジア国際関係, 民間非営利部門論   |
| <b>現在の研究テーマ</b> | ・中国における環境問題と政策, 特に環境汚染の実態および被害者救済<br>・日本・中国・韓国の環境NGO・市民活動, それらの国際展開, 相互交流・協力<br>・上記を中心とする国際関係の同時代史 |
| <b>所属学会</b>     | 環境経済・政策学会, アジア政経学会, 環境社会学会, 日本環境会議, 日本現代中国学会   |

Data

|               |   |
|---------------|---|
| <b>研究等活動</b>  |   |
| <b>【著書】</b>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「SDGsの来た道」, 2020年3月, 高井・甲田編『SDGsを考える』ナカニシヤ出版, 第2章</li> <li>・『Environmental Policy and Governance in China』(共著), 2017年, Springer</li> <li>・『中国の環境法政策とガバナンス』(共著), 2012年1月, 晃洋書房</li> <li>・『中国汚染——「公害大陸」の環境報告』, 2008年3月, ソフトバンククリエイティブ</li> <li>・『中国の環境問題と法・政策』(共著), 2008年3月, 法律文化社</li> <li>・『中国環境ハンドブック』(共編著), 2004年, 2007年, 2009年, 2011年, 蒼蒼社</li> <li>・『地域と環境政策』(共著), 2006年11月, 勁草書房</li> <li>・『アジア環境白書』(共著), 1997年, 2000年, 2003年, 2006年, 2010年, 東洋経済新報社</li> <li>・『環境共同体としての日中韓』(共編著), 2006年1月, 集英社</li> <li>・『重大化する中国環境問題』(編著), 『中国年鑑2004』(共編著) 特集, 2004年8月, 創土社</li> <li>※『中国年鑑』環境問題 (動向, 要覧) 欄は1995年から2008年までと2018年から執筆担当</li> </ul> |
| <b>【論文】</b>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「環境分野からみる中国の民間——NGOを中心に」, 2020年9月, 『現代中国』94</li> <li>・「中国におけるプラスチックごみ問題」, 2019年9月, 『環境経済・政策研究』12-2</li> <li>・「環境問題における日中間協力の現状と課題」, 2014年10月, 『市政研究』185</li> <li>・「転換期にある東アジア地域の民間非営利環境協力」, 2014年4月, 『鳥取環境大学紀要』12</li> <li>・「日中民間非営利交流・協力の現状と将来像」, 2013年1月, 『日中環境産業』49-1</li> <li>・「中国の人々の環境意識はどのように高まったか」, 2012年10月, 『世界』(岩波書店) 835</li> <li>・「中国環境NGOの今」「環境NPOの今—日本と中国のNPO交流の現場から—」, 2012年5月~2013年7月, 『資源環境対策』『日中環境産業』『環境パートナーズ』48-5~49-8</li> <li>・「中国の環境NGOによるグリーン・サプライチェーン運動」, 2012年4月, 『環境と公害』41-4</li> <li>・「ユーラシア北東岸水域の環境汚染問題——松花江の汚染と対策を中心に」, 2012年3月, 『SEEDer』6</li> </ul>  |
| <b>社会貢献活動</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日中韓環境情報共有・交流事業運営委員</li> <li>・中国環境問題研究会 共同代表</li> <li>・中国の環境汚染被害発生地において, 日本の水俣病の経験と教訓について中国語で講演 (日本政府による草の根無償資金援助事業の一環), 2017年11月</li> </ul>   |

## 連 宜萍

准教授

LIEN, Yiping

所属…経営学部 経営学科  
大学院 環境経営研究科 経営学専攻

■主な担当科目 国際経済論, アジア経済論Ⅰ, アジア経済論Ⅱ

## ■研究者略歴

|                 |   |
|-----------------|---|
| 2002 (平成14) 年6月 | 中国文化大学商学部卒業 (台湾)                        |
| 2004 (平成16) 年3月 | 麗澤大学別科日本語研修課程修了                         |
| 2006 (平成18) 年3月 | 麗澤大学修士課程修了 (修士号・経済学)                    |
| 2010 (平成22) 年3月 | 麗澤大学博士課程修了 (博士号・経済学)                    |
| 1995 (平成 7) 年7月 | 帝一実業股份有限公司 (台湾) 営業部 (～2003年)            |
| 2010 (平成22) 年8月 | 銘傳大学 (台湾) 教育応用語文学部応用日本語学科兼任助教授 (～2011年) |
| 2011 (平成23) 年4月 | 麗澤大学経済学部経営学科非常勤講師 (～2012年)              |
| 2012 (平成24) 年4月 | 麗澤大学経済学部経済学科助教授 (～2017年)                |
| 2017 (平成29) 年4月 | 公立鳥取環境大学経営学部経営学科講師 (～2021年)             |
| 2018 (平成30) 年4月 | 公立鳥取環境大学大学院環境経営研究科経営学専攻講師 (～2021年)      |
| 2019 (平成31) 年4月 | 京都外国語大学・京都外国語短期大学非常勤講師                  |
| 2021 (令和 3) 年4月 | 公立鳥取環境大学経営学部経営学科/大学院環境経営研究科経営学専攻准教授     |

■取得学位 博士 (経済学) (麗澤大学)

■専門分野 国際経済学, 経済発展論, 多国籍企業論

■現在の研究テーマ ・自由貿易体制の揺らぎが多国籍企業の投資行動に与える影響  
・アジアにおける産業発展と国際分業  
・台湾アパレル産業の発展とOEM

■所属学会 日本経済政策学会, 国際開発学会, 多国籍企業学会

## ■研究等活動

## 【著書】

- ・『SDGsを考えるー歴史, 環境, 経営の視点からみた持続可能な社会』(共著), 2020年, ナカニシヤ出版
- ・『地方創生のための経営学入門』(共著), 2019年, 今井書店
- ・『中国語で読む経済学』(共著), 2014年, 麗澤大学出版会

## 【論文】

- ・『The Expansion and Challenges of Free Trade Agreements』, 2019年, 『Journal of the Asia Pacific Business & Economics Research Society』Vol.7, No.1.
- ・『揺らぐ自由貿易下での台湾企業の海外直接投資』, 2019年, 『改革者』, 令和元年9月号
- ・『自由貿易体制の展開と限界』, 2018年, 『RIPESS麗澤大学経済社会総合研究センター Working Paper』, 第89号
- ・『台湾のFTA参加問題と新南向政策』, 2018年, 『改革者』, 平成30年8月号
- ・『圧縮型経済発展と中国の成長ー台湾の経験との比較を通して』, 2015年, 『経済政策ジャーナル』, 第11巻第2号
- ・『OEMから高付加価値創造への方向性ー台湾のアパレル企業に対する事例調査を通して』, 2010年, 『麗澤経済研究』, 第18巻第1号
- ・『An Empirical Study of OEM in Taiwan's Apparel Industry』, 2009年, 『Global Economic Review』(SSCI Journal), Vol.38, No.3.

## 【学会報告】

- ・『The changes of FDI and global supply chain in Taiwan's apparel industry』, 2020年, ICBEIT 2020 Sydney
- ・『自由貿易体制の揺らぎが台湾企業の海外直接投資に与える影響』, 2020年, 日本経済政策学会第76回全国大会
- ・『The Expansion and the Limit concerning Free Trade Agreement』, 2019年, ICBEIT 2019 Singapore
- ・『自由貿易体制の展開と限界』, 2018年, 麗澤大学経済社会総合研究センター小野プロジェクト研究報告会
- ・『台湾のFTA参加と輸出競争力』, 2018年, 日本経済政策学会第75回全国大会
- ・『Regional Development and Local Industry in Gifu: Focus on the Apparel Industry』, 2016年, ICBM2016国際大会
- ・『中国の経済発展と政策転換に関する実証分析』, 2014年, 日本経済政策学会第71回全国大会
- ・『圧縮型経済発展と中国の成長ー台湾の経験との比較を通してー』, 2013年, 日本経済政策学会第70回全国大会

## 【書籍翻訳】

- ・『外商顧問超強資料製作術』(中国語繁体字), 2015年, 時報文化出版社 (台湾)
- ・『心想事成的創意整理術』(中国語簡体字), 2015年, 北京聯合出版公司 (中国)
- ・『發明未來的鋼鐵人ー伊隆・馬斯克傳』(中国語繁体字), 2014年, 時報文化出版社 (台湾)

## ■社会貢献活動

- ・ロータリー財団の日中・日台通訳・翻訳

# 倉持 裕彌

KURAMOCHI, Hiromi



地域イノベーション研究センター副センター長  
准教授

所属…経営学部 経営学科  
大学院 環境経営研究科 経営学専攻

Profile

■主な担当科目 社会調査法, コミュニティ・ビジネス論

■研究者略歴

|                  |                               |
|------------------|-------------------------------|
| 1998 (平成10) 年 3月 | 立教大学社会学部社会学科卒業                |
| 2004 (平成16) 年 3月 | 立教大学大学院社会学研究科応用社会学専攻博士前期課程修了  |
| 2005 (平成17) 年 7月 | 財団法人とっとり政策総合研究センター着任          |
| 2012 (平成24) 年 4月 | 鳥取環境大学地域イノベーション研究センター講師       |
| 2014 (平成26) 年 4月 | 鳥取環境大学地域イノベーション研究センター准教授      |
| 2015 (平成27) 年 4月 | 公立鳥取環境大学経営学部准教授               |
| 2016 (平成28) 年 4月 | 鳥取大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻博士後期課程修了  |
| 2016 (平成28) 年 4月 | 公立鳥取環境大学大学院環境経営研究科経営学専攻准教授    |
| 2018 (平成30) 年 4月 | 公立鳥取環境大学地域イノベーション研究センター副センター長 |

Research

■取得学位 社会学修士 (立教大学), 博士 (工学) (鳥取大学)

■専門分野 地域社会学, コミュニティ・ビジネス論

■現在の研究テーマ  
・商店街活性化の新たな担い手に関する研究  
・空き店舗の利活用に関する研究  
・買い物支援に関する研究

■所属学会 日本地域政策学会, 日本都市社会学会, 地域社会学会, 土木学会, 日本都市計画学会

■資格 専門社会調査士

Data

■研究等活動

【著書】

・「地方創生のための経営学入門」(共著) 2019, 今井出版

【論文】

- ・「エリアマネジメントを活用した商店街の空き店舗対策に関する考察」2017, 『日本政策金融公庫論集』第35号
- ・「中山間地域における高齢者の買い物行動と健康維持に関する実証分析」(共著) 2015, 『都市計画論文集』第50号
- ・「官民の役割分担に着目した移動販売の持続可能性の改善に関する考察」(共著) 2015, 『運輸政策研究』, 第18号
- ・「中山間地域における買い物支援に関する考察 - 移動販売に着目して -」(共著) 2014, 『社会技術研究論文集』, 第11号
- ・「空き家を取り巻く諸問題 - 鳥取市・倉吉市空き家実態調査を通して -」2008, 『TORCレポート』, 31号
- ・「地域振興における担い手の活性化の条件 - 千葉県栄町商工会青年部の事例 -」2005, 『日本都市社会学会年報』, 第23号

【研究報告】

・「観光列車運行に関する事例研究 - 若桜鉄道のSL観光列車運行に向けて -」2013, 『鳥取環境大学紀要』, 第11号

【報告書】

- ・「中山間地域集落再生システム構築事業調査」2019年度, 2020年度, 鳥取県受託研究
- ・「持続的な『小さな拠点』のあり方と検討プロセスに係る研究」2016年度, 鳥取県受託研究
- ・「街なか空き家の実態調査と利活用の検討」2013, 鳥取市受託研究

【研究助成】

- ・「鳥取県内商店街の活性化に資するテナントミックスに関する実証研究」2017, 鳥取県環境学術研究等振興事業
- ・「縮小社会における空き家問題への制度的対応の検討」2012, 鳥取県環境学術研究等振興事業

■社会貢献活動

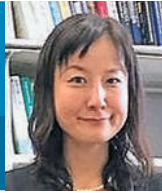
【委員等】

- ・鳥取県景観審議委員
- ・鳥取市空家等対策協議会委員
- ・岩美町総合戦略推進委員
- 他多数



# 中尾悠利子

NAKAO, Yuriko



サステナビリティ研究所副所長  
准教授

所属…経営学部 経営学科  
大学院 環境経営研究科 経営学専攻

URL <https://researchmap.jp/sus-ac/>

## Profile

■ **主な担当科目** 環境経営, 経営戦略論, 共生経営論

### ■ 研究者略歴

|                  |   |
|------------------|---|
| 2005 (平成17) 年 9月 | 関西学院大学大学院総合政策研究科博士課程前期課程修了                |
| 2012 (平成24) 年 9月 | 神戸大学大学院経営学研究科専門職学位課程修了                    |
| 2013 (平成25) 年 4月 | 関西学院大学経済学部非常勤講師 (～2013年9月)                |
| 2014 (平成26) 年 4月 | 鳥取環境大学経営学部経営学科講師                          |
| 2015 (平成27) 年 4月 | 公立鳥取環境大学経営学部経営学科講師                        |
| 2016 (平成28) 年 4月 | 公立鳥取環境大学大学院環境経営研究科経営学専攻講師                 |
| 2017 (平成29) 年 9月 | 神戸大学大学院 経営学研究科 経営学専攻 博士課程後期課程 修了 博士 (経営学) |
| 2018 (平成30) 年 4月 | 公立鳥取環境大学 経営学部経営学科 大学院環境経営研究科 経営学専攻 准教授    |
| 2020 (令和2) 年 4月  | 公立鳥取環境大学 サステナビリティ研究所副所長                   |

## Research

■ **取得学位** 博士 (経営学) (神戸大学)

■ **専門分野** 環境経営, CSR経営, ESG

■ **現在の研究テーマ** 最近の主な研究はAI技術を利用したESG情報との融合に着目し, ESG情報開示が実際のESG評価にどのように影響し, ステークホルダーへの印象を良くするためだけに開示されていないかどうかを判定するモデルを構築している。具体的には, 経営者の発言するESG情報の内容を判定するモデルやESG情報に掲載されている写真を自動取得し, それらの使用傾向を明らかにする解析を行っている。

■ **受賞歴** 2018年10月 日本社会関連会計学会2018年度学会奨励賞

■ **所属学会** 日本会計研究学会, 日本社会関連会計学会, 環境経済・政策学会, 神戸CSR研究会

## Data

### ■ 研究等活動

#### 【著書】

- ・「サステナビリティ報告と利他」第3章「利他の構造」稲盛アカデミー叢書第2巻, 2021年, ミネルヴァ書房
- ・「SDGs ウォッシュを考える—ストーリーとしてのサステナビリティ戦略を目指して」第11章, 『SDGsを考える—歴史・環境・経営の視点からみた持続可能な社会』2020年, ナカニシヤ出版
- ・「Legitimacy through Corporate Social Responsibility Rhetoric: An Analysis of Institutional Context and Language」(共著) Chapter 4, Sustainability Management and Business Strategy in Asia, 2019年, World Scientific Publishing
- ・「企業経営と環境」第11章, 『地方創生の経営学入門』2019年, 今井出版
- ・「環境とCSR」第11章, 『CSRの基礎—企業と社会の新しいあり方—』2017年, 中央経済社
- ・「企業の社会的責任活動と企業業績ならびに環境イノベーション」第15章 (共著), 『持続可能な社会と市場経済システム』, 2008年, 関西学院出版会
- ・「環境パフォーマンスと財務パフォーマンスの関連性: 日本企業についての実証分析」第3章 (共著), 『環境政策が企業の環境・財務パフォーマンスの関係に及ぼす影響』第4章 (共著), 『環境経営のイノベーション—企業競争力向上と持続可能な社会の創造』, 2006年, 生産性出版
- ・「持続可能性報告書とGRIガイドライン」第7章, 『企業とステークホルダーとの対話』第14章, 『持続可能な社会のフロンティア』(共著), 2004年, 関西学院出版会

#### 【論文】

- ・「ニューラルネットワークによるサステナビリティ情報のテキスト分析—経営トップメッセージの環境・社会記述分析への適用—」(共著) 2019年, 『企業と社会フォーラム学会誌』企業と社会シリーズ第8巻 57 - 72 頁。
- ・「言葉と環境/社会パフォーマンスとの関連—テキストマイニングによるCSRレトリック分析—」(単著) 2018年, 『社会関連会計研究』第30号, 63-84頁。
- ・「サステナビリティ報告とレトリック—経営トップメッセージのテキストマイニング—」(単著), 2017年, 『神戸大学大学院経営学研究科博士論文』(学位授与番号: 甲第318号), 1-168頁
- ・「環境社会報告の記述的表現の研究の方法と結果に対する考察」(単著), 2015年, 『鳥取環境大学紀要』第13号, 31-40頁
- ・「社会・環境パフォーマンスと記述的表現の関係性: 社会環境報告書の分析を通して」(共著), 2014年, 『会計』185巻第6号, 68-81頁
- ・「企業評価におけるESG情報開示のメリットとわが国における課題」(単著), 2012年, 『総合政策研究』, 第40号, 99-103頁
- ・「Corporate environmental and financial performances and the effects of information-based instruments of environmental policy in Japan」(共著), 2007, International Journal of Environment and Sustainable Development, Vol. 6, No. 1, pp.95-112
- ・「Relationship between environmental performance and financial performance: an empirical analysis of Japanese corporations」(共著), 2007, Business Strategy and the Environment, Vol. 16, Issue 2, pp.106-118

#### 【Proceedings】

- ・「Does Environmental, Social, and Governance Disclosure Strategically Employ Visual Rhetoric? An Exploratory Global Analysis」(共著), Proceedings of KAA Annual Global Meeting (KAGM) 2020
- ・「Using a neural network for text analysis of sustainability disclosure: Evidence from Japan」(共著), Proceedings of (the 9th Asia-Pacific Interdisciplinary Research in Accounting (APIRA2019), 2019, Auckland University, New Zealand.
- ・「Exploring the CEO's words for Sustainability: Trends in Environmental and Social Disclosure from 2001 to 2015」(共著), 2017, CSEAR North-Asia Hong Kong Conference 2017
- ・「Determinants of Narrative Content of Sustainability Reporting by Japanese Companies」(共著), 2013, APIRA(The Seventh Asia Pacific Interdisciplinary Research in Accounting Conference), Kobe, Japan

#### 【Discussion Paper】

- ・「Do Sustainability Reports Strategically Employ Rhetorical Tone? : An evidence from Japan」(共著), 2019, Graduate School of Business Administration, Kobe University, Discussion Paper Series, 2019(1), pp.1-24

### ■ 社会貢献活動

- 「SDGsと企業経営～2030年に選ばれる企業とは～」鳥取県経済同友会西部地区オープン例会, 2019年12月
- 「SDGsと企業経営」鳥取実業倶楽部 2018年12月例会
- 鳥取県信用保証協会理事 (2018年8月～2021年7月), 鳥取県防災会議委員 (2018年3月～2020年3月)



## 川崎 紘宗

KAWASAKI, Hironori



准教授

所属…経営学部 経営学科  
大学院 環境経営研究科 経営学専攻

|                  |                                     |
|------------------|-------------------------------------|
| ■主な担当科目          | 管理会計, 原価計算論, 商業簿記                   |
| ■研究者略歴           |                                     |
| 2008 (平成20) 年 3月 | 松山大学 経営学部 卒業                        |
| 2010 (平成22) 年 3月 | 神戸大学大学院 経営学研究科 博士前期過程 修了            |
| 2011 (平成23) 年 3月 | 高松大学 経営学部 助教                        |
| 2014 (平成26) 年 3月 | 神戸大学大学院 経営学研究科 博士後期過程 修了            |
| 2014 (平成26) 年 4月 | 高松大学 経営学部 講師                        |
| 2016 (平成28) 年10月 | 公立鳥取環境大学 経営学部 講師                    |
| 2017 (平成29) 年 4月 | 公立鳥取環境大学 環境経営研究科 経営学専攻 講師           |
| 2018 (平成30) 年 4月 | 公立鳥取環境大学 経営学部経営学科 環境経営研究科 経営学専攻 准教授 |

|           |   |
|-----------|---|
| ■取得学位     | 博士 (経営学) (神戸大学)   |
| ■専門分野     | 管理会計, 予算管理, 政府会計, 会計史   |
| ■現在の研究テーマ | ・20世紀初頭のアメリカ政府予算と企業予算との関係性に関する研究<br>・アメリカの政府組織と一般企業の組織の管理に革新主義 (効率性と経済性を追求する社会的ムーブメント) の思想が与えた影響についての考察 |
| ■所属学会     | 日本管理会計学会, 非営利法人研究学会, 日本簿記学会   |

|         |  |
|---------|--|
| ■研究等活動  |  |
| 【著書】    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「図解 簿記・会計の基本テキスト」(共著) (第1章・第3～5章担当), 2021年, 同文館出版。</li> <li>・「地方創生のための経営学入門」(共著) (第1章担当), 2019年, 今井出版。</li> <li>・「近代会計史入門 (第2版)」(共著) (第11章担当), 2019年, 同文館出版。</li> <li>・「基礎簿記会計 (四訂版)」(共著) (第11章担当), 2016年, 五紘舎。</li> <li>・「新版 現代会計用語辞典」(共著) (「環境マネジメントシステム」, 「最終仕入原価法」, 「持続可能性」, 「製造指図書」担当), 2016年, 税務経理協会。</li> <li>・「近代会計史入門」(共著) (第11章担当), 2014年, 同文館出版。</li> </ul>   |
| 【論文】    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「会計研究と解釈学—ガダマーの解釈学を中心として—」, 2018年, 『松山大学論集』第30巻第4-2号 69-87頁 (松山大学)。</li> <li>・「アメリカ連邦政府における予算制度の変遷」, 2017年, 『研究紀要』第67号 (<a href="http://www.takamatsu-u.ac.jp/library/06_gakunaisyupan/kiyo/no67/67_UG002_001-014_kawasaki.pdf">http://www.takamatsu-u.ac.jp/library/06_gakunaisyupan/kiyo/no67/67_UG002_001-014_kawasaki.pdf</a>) (高松大学)。</li> <li>・「McKinseyによるBudgetary Control (1922) と政府の予算制度」, 2016年, 『研究紀要』第64・65号, 21-37頁 (高松大学)。</li> <li>・「20世紀初頭のアメリカの州政府へ導入された新たな予算制度についての考察」, 2015年, 『研究紀要』第62・63号, 113-133頁 (高松大学)。</li> <li>・「アメリカ地方政府の会計におけるChase(1910)の思考」, 2013年, 『研究紀要』第58・59号, 153-165頁 (高松大学)。</li> <li>・「予算・会計法の導入の背景と予算編成の手続」, 2013年, 『研究紀要』第58・59号, 77-91頁 (高松大学)。</li> <li>・「予算制度に関するタフト委員会の思考」, 2012年, 『研究紀要』第56・57号, 81-109頁 (高松大学)。</li> </ul> |
| ■社会貢献活動 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「いまさら聞けない簿記・会計のこと！—簿記や会計の基礎知識を学ぶ—」鳥取環境大学公開講座社会人セミナー (2017年)。</li> <li>・鳥取県県土整備部指定管理施設運営評価委員会委員長, 鳥取県県土整備部指定管理候補者審査委員会委員長(2017年-2023年)。</li> <li>・「会計学は難しい?! 会計情報の読み方はなし」とっとり消費者大学「くらしの経済・法律講座」(後期: 公立鳥取環境大学) (2018年-2019年)。</li> </ul>   |

# 高井 亨

TAKAI, Toru



准教授

所属…経営学部 経営学科  
大学院 環境経営研究科 経営学専攻

Profile

■ **主な担当科目** 統計学入門, ミクロ経済学, データ解析, 環境評価特論, 経営統計特論

■ **研究者略歴**

|                  |                                       |
|------------------|---------------------------------------|
| 2002 (平成14) 年 3月 | 筑波大学第三学群社会学類都市計画主専攻卒業                 |
| 2004 (平成16) 年 3月 | 京都大学大学院エネルギー科学研究科エネルギー社会・環境科学専攻修士課程修了 |
| 2008 (平成20) 年 3月 | 京都大学大学院経済学研究科経済システム分析専攻博士後期課程修了       |
| 2008 (平成20) 年 4月 | 独立行政法人産業技術総合研究所安全科学研究部門産総研特別研究員       |
| 2012 (平成24) 年 4月 | 鳥取環境大学地域イノベーション研究センター講師               |
| 2014 (平成26) 年 4月 | 鳥取環境大学地域イノベーション研究センター准教授              |
| 2015 (平成27) 年 4月 | 公立鳥取環境大学経営学部准教授                       |
| 2016 (平成28) 年 4月 | 公立鳥取環境大学大学院環境経営研究科経営学専攻准教授            |

Research

■ **取得学位** 京都大学博士 (経済学)

■ **専門分野** 社会学, 環境評価

■ **現在の研究テーマ** ・社会学の基礎  
・統合型環境指標の開発  
・持続可能な発展における動物への配慮  
・緩やかなヴィーガニズムの普及方策

■ **所属学会** 進化経済学会, 経済理論学会, 環境科学会, 人と動物の関係学会

Data

■ **研究等活動**

【著書】

・『SDGs を考える一歴史・環境・経営の視点からみた持続可能な社会』(共編著) (「まえがき」「0章：風変わりな序章-SDGsの下に埋もれるものたちからSDGsをみつめる」「3章：世界はSDGsの意味で持続可能か」), ナカニシヤ出版, 2020年

【論文】

- ・『SDGs の到達度を測る一正射影ベクトルを用いた統合指標作成の試み』『経済論叢』194(1), 2020年
- ・『デカップリング指標の基礎：概念・理論・測定』『公立鳥取環境大学経営学部ディスカッションペーパー』2018-4, 2019年
- ・『デカップリング指標は何を測定しているのか』『環境情報科学学術研究論文集』29, 2015年
- ・『鳥取環境大学が地域におよぼす経済効果の推計』『鳥取環境大学紀要』13, 2015年
- ・『ピブリオバトルによる域学連携の試み』『鳥取環境大学紀要』12, 2014年
- ・『地域コミュニティ支援事業の費用便益分析：鳥取市を例に』『鳥取環境大学紀要』11, 2013年
- ・『シフト・シェア分析を用いた二酸化炭素排出構造の要因分析』『環境情報科学学術研究論文集』26, 2012年
- ・『ヘドニック・アプローチによる地域コミュニティの価値の貨幣評価-鳥取市を例に-』[TORCLレポート] 35, 2012年
- ・『住民選好に基づいた地域コミュニティ支援政策の評価 -鳥取市によるまちづくり協議会への支援事業を対象として-』[TORCLレポート] 35, 2012年
- ・『経済成長と二酸化炭素排出量削減は両立するか-デカップリング概念を用いた国際比較-』『経済論叢』184(2), 2010年
- ・『デカップリング概念と要因分解の統合による持続可能性評価』『環境情報科学論文集』24, 2010年
- ・『情報提供が人々の便益認知およびリスク認知に与える影響：ナノテクノロジー応用製品のケース』(共著・筆頭)『日本リスク研究学会誌』20-3, 2010年
- ・『ナノテクノロジー製品の受容に感情, 信頼および知識の及ぼす影響』(共著・筆頭)『日本リスク研究学会誌』19-4, 2009年
- ・『自治体における環境と経済とのデカップリング状態の評価手法について』(共著・筆頭)『環境情報科学論文集』23, 2009年
- ・『Comparative analysis on eco-efficiency of the local government』(共著・筆頭) Proceedings of The 8th International conference on EcoBalance, 2008年
- ・『家庭内の利他行動を考慮したヘドニック・アプローチ：理論と実証』『進化経済論集』11, 2007年
- ・『ヘドニック・アプローチによる原子力事故の影響評価』[日本リスク研究学会講演論文集] 18, 2005年

【報告書】

・『住民選好にもとづく地域交通体系への政策提言』『地域イノベーション研究』3, 2016年 ほか

■ **社会貢献活動**

- ・JA鳥取県中央会年次総会での講演 (2019年6月)
- ・鳥取県教育委員会指定管理候補者審査・指定管理施設運営評価委員会 委員長 (2018年度)
- ・鳥取市消費者市民まつりシンポジウム パネリスト (2017年3月)
- ・鳥取県立鳥取西高等学校「思索と表現 (文部科学省SGH事業)」講師 (2016年度) ほか

# 竹内 由佳

TAKEUCHI, Yuka



准教授

所属…経営学部 経営学科  
大学院 環境経営研究科 経営学専攻

Profile

|                  |                                  |
|------------------|----------------------------------|
| ■主な担当科目          | 流通論, マーケティング I                   |
| ■研究者略歴           |                                  |
| 2007 (平成19) 年 3月 | 広島大学法学部法学科卒業                     |
| 2010 (平成22) 年 3月 | 神戸大学大学院経営学研究科博士前期課程修了            |
| 2013 (平成25) 年 4月 | 高松大学経営学部 助教                      |
| 2017 (平成29) 年 4月 | 公立鳥取環境大学経営学部 講師                  |
| 2018 (平成30) 年 7月 | 公立鳥取環境大学大学院環境経営研究科経営学専攻 講師       |
| 2018 (平成30) 年 9月 | 神戸大学大学院経営学研究科博士後期課程単位取得, 博士 (商学) |
| 2021 (令和 3) 年 4月 | 公立鳥取環境大学経営学部/大学院環境経営研究科経営学専攻 准教授 |

Research

|           |   |
|-----------|---|
| ■取得学位     | 博士(商学) (神戸大学)   |
| ■専門分野     | 流通論, マーケティング論, 消費者行動論   |
| ■現在の研究テーマ | ・企業の社会的責任とマーケティングの関係に関する研究<br>・コース・リレーテッド・マーケティングに関わる消費者像に関する研究 |
| ■所属学会     | 日本商業学会, 大学教育学会  |

Data

|        |  |
|--------|--|
| ■研究等活動 |  |
| 【著書】   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「第5章 マーケティング」, 倉持裕彌, 磯野誠, 川崎紘宗, 叡成華編著『地方創生のための経営学入門』, 今井出版, 2019年</li> <li>・「SDGsとマーケティング」, 高井亨, 甲田紫乃編著『SDGsを考える——歴史・環境・経営の視点からみた持続可能な社会』, ナカニシヤ出版, 2020年</li> <li>・「社会を変えるマーケティング」, 千倉書房, 2020年</li> </ul>  |
| 【論文】   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「コースリレーテッド・マーケティングが企業と消費者の価値共創に与える影響 —株式会社 フェリシモの事例より—」, 2010年, 修士論文 (神戸大学)</li> <li>・「マーケティングと企業の社会的責任」, 『季刊マーケティング・ジャーナル』, 2011年, 第119巻</li> <li>・「全体主義から見たマーケティング (前編)」, 『高松大学研究紀要』, 2015年, 第63号</li> <li>・「サービスとしての講義—顧客歓喜の視点より—」, 『高松大学研究紀要』, 2016年, 第64・65号</li> <li>・「社会的大義を訴求するマーケティングの成立過程とその要因」, 2019年, 博士論文 (神戸大学)</li> <li>・「環大経営学部がやるしかない!! —鳥取における鳥取のための産官学連携シカ肉によるPBL教育—」, 2019年地域イノベーション研究センター事業報告書</li> </ul> |

|         |  |
|---------|--|
| ■社会貢献活動 |  |
|         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・2014年9月 女木コミュニティセンター講座 「身近にあふれるマーケティング」</li> <li>・2016年3月 こんぴら大学 「数字に騙されるな! ~統計学の初歩の初歩~」</li> <li>・2016年8月 男木コミュニティセンター講座 「身近にあふれるマーケティング」</li> <li>・2016年10月 女木コミュニティセンター講座 「数字に騙されるな! ~統計学の初歩の初歩~」</li> <li>・2019年3月 第18回 平成30年度 公益社団法人鳥取県栄養士会栄養士のための調査・研究研修会での講演「なんと身近な統計学~実証研究の初歩の初歩~」</li> <li>・2021年7月 公開講座「What is Marketing!?!」</li> <li>・2021年11月 東部こらぼネット6次化産業セミナー 講師</li> </ul> |

# 島田 善道

SHIMADA, Yoshimichi



講師

所属…経営学部 経営学科  
大学院 環境経営研究科 経営学専攻

✉ shimaday@kankyo-u.ac.jp

## Profile

■主な担当科目 経営組織論 1・2, 国際経営論

### ■研究者略歴

|                  |                                   |
|------------------|-----------------------------------|
| 1992 (平成 4) 年 3月 | 立命館大学経営学部経営学科卒業 (学士 (経営学))        |
| 2015 (平成27) 年 3月 | 大阪府立大学大学院経済学研究科経営学専攻修了 (修士 (経営学)) |
| 2020 (令和 2) 年 3月 | 神戸大学大学院経営学研究科博士課程後期課程単位取得退学       |
| 1992 (平成 4) 年 4月 | パナソニック株式会社 (～2012年12月)            |
| 2015 (平成27) 年 4月 | 姫路獨協大学非常勤講師 (～2017年9月)            |
| 2016 (平成28) 年 4月 | 京都外国語大学・京都外国語短期大学非常勤講師 (～2019年3月) |
| 2018 (平成30) 年 4月 | 公立鳥取環境大学経営学部経営学科講師                |
| 2018 (平成30) 年 7月 | 公立鳥取環境大学環境経営研究科経営学専攻講師            |
| 2018 (平成30) 年10月 | 大阪経済法科大学非常勤講師 (～2020年3月)          |
| 2019 (平成31) 年 4月 | 兵庫県立大学大学院非常勤講師 (～2021年3月)         |
| 2020 (令和 2) 年 4月 | 龍谷大学非常勤講師                         |

## Research

■取得学位 修士 (経営学)

■専門分野 経営学, 経営組織論, 国際経営論, 経営管理論

■現在の研究テーマ

- ・日本企業におけるグローバルリーダー行動の研究
- ・日本企業の国際化に関する研究
- ・人材育成やリーダーシップ, 組織開発に関する研究

■受賞歴 2017 (平成29) 年6月 社会科学特別奨励賞(凌霜賞)受賞(神戸大学六甲台後援会海外派遣助成)

■所属学会 日本経営学会, 経営学史学会, 日本労務学会, 日本情報経営学会, 組織学会, 国際ビジネス研究学会, 経営行動科学学会

## Data

### ■研究等活動

#### 【著書】

- ・『経営学ファーストステップ』(共著), 2020年, 八千代出版
- ・『経営組織入門』(共著), 2020年, 文眞堂
- ・『日本の人事システム—その伝統と革新』(共著), 2019年, 同文館出版
- ・『地方創生のための経営学入門』(共著), 2019年, 今井出版
- ・『ベーシック+ 人的資源管理』(共著), 2016年, 中央経済社

#### 【論文】

- ・「グローバル市場主義と日本人の働き方」(共著), 2019年, 『国民経済雑誌』第220巻第1号, 神戸大学経済経営学会
- ・「Relationship between the principles of organization and requirements of global leader」, 2018年, Eurasian Journal of Business & Management
- ・「日本企業におけるグローバルリーダーを取り巻く環境にかんする考察」, 2018年, 『経営問題』, 日本学術振興会産学協力研究委員会 経営問題第108委員会機関紙
- ・「日本企業における組織編成原理とグローバルリーダーの適合」, 2018年, 神戸大学Discussion Paper 2018・5, 『人材マネジメントの新展開 調査報告書』
- ・「グローバルリーダー研究の学史的な位置づけの検討」, 2017年, 『経営学史研究の興亡—経営学史学会年報第24輯』, 文眞堂
- ・「日本型グローバルリーダーの探究に向けて」, 2016年, 『経営学論集 第87集』, 日本経営学会
- ・「グローバルリーダーのコンピテンシー分類の試みと今後のグローバルリーダー研究の方向性」, 2016年, 『六甲台論集 経営学編』第63巻第1号, 神戸大学大学院経営研究会
- ・「グローバルリーダーのコンピテンシーの探究とその研究課題」, 2016年, 『六甲台論集 経営学編』第62巻第4号, 神戸大学大学院経営研究会
- ・「グローバルリーダー研究の系譜と課題」, 2015年, 大阪府立大学修士論文
- ・「What Is a Global Leader?」, 2014年, Proceedings of International Federation of Scholarly Associations of Management (IFSAM2014) World Congress

#### 【報告書】

- ・「日本企業における組織編成原理とグローバルリーダーの適合の分析」(共著), 2018年, 「人材マネジメントの新展開 調査報告書」, 神戸大学大学院経営学研究科, 一般社団法人日本能率協会KAIKAセンター JMAマネジメント研究所

# 谷口 謙次

TANIGUCHI, Kenji



講師

所属…経営学部 経営学科  
大学院 環境経営研究科 経営学専攻

Profile

■主な担当科目 経営史, 経済史, 経済・経営史

■研究者略歴

|                  |                                  |
|------------------|----------------------------------|
| 1998 (平成10) 年 3月 | 大阪市立大学経済学部 卒業                    |
| 2001 (平成13) 年 3月 | 大阪市立大学大学院経済学研究科前期博士課程 修了         |
| 2009 (平成21) 年 3月 | 大阪市立大学大学院経済学研究科後期博士課程 単位取得後退学    |
| 2013 (平成25) 年 4月 | 大阪市立大学大学院経済学研究科 特任助教             |
| 2014 (平成26) 年 4月 | 大阪市立大学大学院経済学研究科 博士研究員 (科研費)      |
| 2015 (平成27) 年 8月 | 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 研究員 (科研費) |
| 2016 (平成28) 年 5月 | 大阪市立大学大学院経済学研究科 博士研究員 (科研費)      |
| 2017 (平成29) 年 5月 | 大阪市立大学大学院経済学研究科 博士研究員 (科研費)      |
| 2018 (平成30) 年 4月 | 公立鳥取環境大学 経営学部経営学科講師              |
| 2018 (平成30) 年 7月 | 公立鳥取環境大学 大学院 環境経営研究科 経営学専攻講師     |

Research

■取得学位 博士 (経済学) (大阪市立大学) (2012年)

■専門分野 経営史, インド経済史, アジア経済史

■現在の研究テーマ

- ・植民地期インドでのイギリス東インド会社による貨幣政策の分析
- ・植民地初期のイギリス東インド会社の性格について
- ・近世以降のインドにおける貨幣の多様性について
- ・19世紀前半のインド経済について

■所属学会 社会経済史学会

Data

■研究等活動

【著書】

- ・『帝国とアジア・ネットワーク—長期の19世紀—』(共著) (第3章「18世紀後半のベンガルにおけるイギリス東インド会社の貨幣政策」担当), 2009年, 世界思想社
- ・『SDGsを考える—歴史・環境・経営の視点からみた持続可能な社会』(共著), (第1章「歴史からみた環境と経済開発」担当), 2020年, ナカニシヤ出版

【論文】

- ・「18世紀末ベンガルにおけるイギリス東インド会社の鑄造所改革」(単著) 2010年3月 経済学雑誌第110巻第4号
- ・「18世紀後半のベンガルにおける銀不足問題とベンガル植民地政府財政」(単著) 2012年3月 経済学雑誌第112巻第4号
- ・「近世南アジアの貨幣制度と18世紀ベンガルにおける貨幣の多様性」(単著) 2012年10月 松山大学論集, 第4-2号
- ・「19世紀前半のインドにおける経済不況と貨幣供給—貴金属貿易と貨幣鑄造」(単著) 2016年10月 三田学会雑誌 109巻3号



# 山口 和宏

YAMAKUCHI, Kazuhiro



講師

所属…経営学部 経営学科  
大学院 環境経営研究科 経営学専攻

E-Mail k-yama@kankyo-u.ac.jp

## Profile

■主な担当科目 農業経営論 地域振興論 観光経営論

### 研究者略歴

|                  |                             |
|------------------|-----------------------------|
| 1999 (平成11) 年 3月 | 九州大学大学院農学研究科 修士課程修了         |
| 2004 (平成16) 年 4月 | 九州大学大学院生物資源環境科学研究科 博士後期課程修了 |
| 2004 (平成16) 年 5月 | 九州大学大学院農学研究院 学術特定研究者        |
| 2007 (平成19) 年 5月 | 佐賀大学海浜台地生物環境研究センター 研究支援推進員  |
| 2015 (平成28) 年 4月 | 一般社団法人北海道地域農業研究所 専任研究員      |
| 2019 (平成31) 年 4月 | 公立鳥取環境大学経営学部 講師             |
| 2019 (令和1) 年10月  | 公立鳥取環境大学大学院環境経営研究科経営学専攻 講師  |

## Research

|           |   |
|-----------|---|
| ■取得学位     | 博士 (農学) (九州大学)  |
| ■専門分野     | 地域振興論 農業経済学   |
| ■現在の研究テーマ | ・ 農業労働力の減少が地域に与える影響に関する研究<br>・ 地域振興に農業部門が果たす役割に関する研究<br>・ 担い手農家の農業所得の確保に向けた経営戦略に関する研究 |
| ■受賞歴      | 2013 (平成25) 年9月 奨励賞 (食農資源経済学会)  |
| ■所属学会     | 日本農業経済学会, 農業問題研究学会, 食農資源経済学会  |

## Data

### 研究等活動

#### 【著書】

- ・「農業構造変動の地域分析」(共著), 2012年, 農山漁村文化協会
- ・「集落営農組織の再編と水田農業の担い手」(共著), 2011年, 筑波書房

#### 【論文】

- ・「北九州地域の構造変化と集落営農組織の実態－佐賀県を事例に－」, 2011年, 『農業問題研究 第44巻第2号』

#### 【報告書】

- ・「JAが実施する無料職業紹介事業のニーズに関する調査研究」, 2019年, 北海道地域農業研究所
- ・「地方創生における農協・自治体の役割－西日本の先進事例から－」(共著), 2016年, 北海道地域農業研究所

佐藤 彩子

SATO, Ayako



講師

所属…経営学部 経営学科  
大学院 環境経営研究科 経営学専攻

Profile  
Research  
Data

■主な担当科目 地域経済論, 地域産業論, ワークショップ

■研究者略歴

|                  |                                     |
|------------------|-------------------------------------|
| 2010 (平成22) 年 3月 | 慶応義塾大学商学部 商学科卒業                     |
| 2012 (平成24) 年 3月 | 九州大学大学院経済学府 経済システム専攻 修士課程修了 修士(経済学) |
| 2015 (平成27) 年 3月 | 九州大学大学院経済学府 経済システム専攻 博士後期課程単位修得退学   |
| 2015 (平成27) 年 4月 | 九州大学大学院経済学研究院助教                     |
| 2016 (平成28) 年 4月 | 九州大学大学院経済学研究院専門研究員                  |
| 2017 (平成29) 年 4月 | 三重大学地域人材教育開発機構特任講師                  |
| 2018 (平成30) 年 4月 | 公立鳥取環境大学経営学部経営学科講師                  |
| 2019 (平成31) 年 4月 | 公立鳥取環境大学大学院環境経営研究科経営学専攻講師           |

■取得学位 博士(経済学)(九州大学)

■専門分野 地域経済学, 経済地理学

■現在の研究テーマ

- ・介護サービスの産業特性に関する研究
- ・介護サービス地域労働市場に関する研究
- ・介護福祉士養成学校卒業者の就職に関する研究
- ・外国人介護職員の流入過程と就業特性に関する研究

■所属学会 経済地理学会, 日本地理学会, 地理科学学会, 日本地域経済学会, 日本地域政策学会, 日本老年社会学会, 九州経済学会

■研究等活動

- 【著書】
- ・「地方創生のための経営学入門」(共著), 2019年, 今井出版
- 【論文・紀要】
- ・「介護福祉士確保への取組みと就業特性: 大分市の特別養護老人ホームを事例として」, 2020年, 『地理科学』第75巻(地理科学学会)
  - ・「高齢期の働き方に関する事例研究: 広告業D社グループの転籍実態を対象として」, 2019年, 『ディスカッションペーパーシリーズ』第1号(公立鳥取環境大学経営学部)
  - ・「介護サービス労働力の質的不足の地域差」, 2019年, 『公立鳥取環境大学紀要』第16号
  - ・「介護福祉士養成学校の卒業生とその他経歴の介護サービス従業者の就職-福岡県の介護サービス労働市場を対象として-」, 2018年, 『ディスカッションペーパーシリーズ』第1号(公立鳥取環境大学経営学部)
  - ・「介護サービスの産業特性と労働市場に関する研究: 福岡県を事例として」, 2017年, 九州大学博士論文
  - ・「在宅サービス企業における経営資源, 顧客確保とネットワーク-福岡市に立地する企業を事例として-」, 2016年, 『地域経済学研究』第31号(日本地域経済学会)
  - ・「介護事業所内の従業者の階層性と男性従業者の位置付け-福岡市を事例として-」, 2014年, 『経済論究』第150号(九州大学大学院経済学)
  - ・「高齢者の転籍に関する事例研究-2000年代におけるグループ経営という観点からの分析-」, 2012年, 九州大学修士論文
- 【報告書】
- ・「若者を含めた関係人口に対する地域としての関わり方に関する調査研究」(共著), 2021年, 令和2年度鳥取市総合政策調査委託事業報告書
  - ・「介護サービス産業労働力に関するジェンダー地理学研究-福岡県を対象として-」, 2015年, 九州大学ジェンダー研究に取り組む学生への研究助成プログラム平成26年度研究成果報告書
- 【学会発表】
- ・「地方圏で働く介護職員の職業経歴と定着プロセス: 福岡県筑豊地域の特別養護老人ホームを対象として」, 2020年日本地理学会春季学術大会, 2020年3月27日, 於: 駒澤大学
  - ・「介護福祉士の就業特性とその要因-福岡市の特別養護老人ホームを対象として-」, 2019年日本地理学会春季学術大会, 2019年3月20日, 於: 専修大学
  - ・「高齢期の働き方に関する事例研究: 広告業D社グループの転籍実態を対象として」, 日本経営学会関西支部会第642回例会, 2018年12月15日, 於: 公立鳥取環境大学
  - ・「介護サービスの産業特性と労働市場の構造-福岡県の場合-」, 経済地理学会第65回大会, 2018年5月27日, 於: 東北大学
  - ・「大分市の介護サービス専門職従事者の通勤圏」, 2018年日本地理学会春季学術大会, 2018年3月22日, 於: 東京学芸大学
  - ・「福岡市に立地する介護福祉士養成学校入学者の出身地域」, 2016年日本地理学会春季学術大会, 2016年3月21日, 於: 早稲田大学
- 【研究助成】
- ・「若者を含めた関係人口に対する地域としての関わり方に関する調査研究」, 代表, 2020年7月~2021年3月, 令和2年度鳥取市総合政策調査委託事業
  - ・「介護サービス産業の専門職確保と就業に関する研究: 大分県を対象に」, 代表, 2017年7月~2018年3月, 平成29年度三重大学若手研究支援事業
  - ・「三重県の餅文化を活かした地域活性化~三重創生ファンタジスタクラブ「三重餅プロジェクト」~」, 代表, 2017年7月~2018年3月, 平成29年度三重大学地域貢献活動支援事業
  - ・「介護福祉士養成学校の学生確保に関する経済地理学的研究」, 代表, 2015年8月~2016年3月, 平成27年度九州大学教育研究プログラム・研究拠点形成プロジェクト(P&P)
- 【その他】
- ・「都道府県スケールでみた介護サービス労働力の量的・質的不足の地域差」, 2020年, 『地域ケアリング』2020年3月号(北陸館)
  - ・「地域系ゼミによる教育活動の実践-鳥取県隠岐郡海士町でのフィールド調査から-」, 2020年, 『日本地域政策研究』第24号

■社会貢献活動

- ・「若者を含めた関係人口に対する地域としての関わり方に関する調査研究」(公立鳥取環境大学 第7回とっとり麒麟地域活性化プラットフォーム地域連携推進会議), 講師, 公立鳥取環境大学, 2021年2月
- ・鳥取市現本庁舎等跡地活用に関する検討委員会, 委員, 2018年8月~2020年1月
- ・「高齢化・過疎化時代を支える情報サービスと若者向け雇用機会の提案~麒麟地域と中海・宍道湖・大山地域を比較して」(公立鳥取環境大学 第5回とっとり麒麟地域活性化プラットフォーム地域連携推進会議), 講師, 公立鳥取環境大学, 2018年11月
- ・「鳥取県の高齢化と介護サービス人材」『医療・介護サービス人材不足を補う情報サービス』(公立鳥取環境大学「未来への授業」), 講師, 公立鳥取環境大学, 2018年10月
- ・「高齢化・過疎化時代を支える情報サービス」(公立鳥取環境大学公開講座), 講師, 公立鳥取環境大学西部サテライトキャンパス, 2018年9月
- ・福岡福祉向上委員会 顧問, 2017年~
- ・「養成学校を卒業すると何が違うのか~介護サービス労働市場と介護福祉士養成施設の役割~」, (公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会九州ブロック教員研修会), 基調講演, 福岡市, 2016年
- ・「養成学校を卒業した介護福祉士の重要性と現場での評価」(麻生専門学校グループ「高等学校1・2年生の進路指導に関わる専門学校説明及び公開・体験授業」), 講師, 麻生医療福祉専門学校福岡校, 2016年